

2020-2029

群馬県道路整備 アクションプログラム

～ 今後10年間の道路整備の進め方～

令和3年3月
(令和5年4月改定版)



第1部 「群馬県道路整備アクションプログラム」の基本情報編

・ 「群馬県道路整備アクションプログラム」とは	1
・ 計画の期間	1
・ 計画の位置づけ	1
・ 掲載対象事業	2
・ 掲載事業の選定基準	2
・ 「主要道路ネットワーク」全域図	3
・ 「レジリエンスネットワーク」全域図	5
・ 「物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワーク」全域図	7
・ 「まちのまとまりをつなぐ道路」全域図	9

第2部 地域計画編

・ 前橋地域	11
・ 北群馬渋川地域	17
・ 佐波伊勢崎地域	23
・ 高崎地域	29
・ 安中地域	35
・ 多野藤岡地域	39
・ 甘楽富岡地域	45
・ 吾妻地域	51
・ 利根沼田地域	57
・ 太田地域	63
・ 桐生・みどり地域	69
・ 邑楽館林地域	75

用語解説

・ 用語解説	81
--------	----

群馬県道路整備アクションプログラムの基本情報

「群馬県道路整備アクションプログラム」とは

群馬県における県土整備分野の最上位計画である「ぐんま・県土整備プラン2020」に基づき、2040年の将来像を目指し、「災害レジリエンスNo.1」の実現や地域課題の解決に向け、国・県・市町村が実施する道路整備を今後10年間でどのように進めていくかを具体的に示したものです。

計画の期間

令和2年度（2020）から令和11年度（2029）までの10箇年計画とし、概ね5年ごとに見直しを行います。

計画の位置づけ

ぐんま・県土整備プラン2020

2040年に目指す将来像

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県
誰もが安全・快適に移動でき、人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県
地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

基本計画編

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 **最重点**

- 施策1：緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）
- 施策2：重点水害アクション（5か年重点レジリエンス戦略）
- 施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）
- 施策4：避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）

SDGs関連目標



政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

- 施策1：予防保全に基づく長寿命化
- 施策2：効率的な維持管理

SDGs関連目標



政策3 多様な移動手段の確保

- 施策1：公共交通網の整備・維持
- 施策2：自動車交通網の整備
- 施策3：歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

SDGs関連目標



政策4 住み続けられるまちづくり

- 施策1：適正な土地利用によるまちのまとまりの維持
- 施策2：良好なまち並みと快適な住まいづくり

SDGs関連目標



政策5 美しく良好な環境の保全

- 施策1：豊かで美しい自然環境の保全・再生
- 施策2：健全な水循環の維持・回復
- 施策3：地球温暖化対策の推進

SDGs関連目標



地域計画編

12地域毎に、地域の課題解決に向けて、今後10年間に県が取り組む主要事業とその着手又は完成予定年度を明示

・地域計画編に国・市町村道事業等を追加
・道路事業のみに特化

群馬県道路整備アクションプログラム

2020-2029

オール群馬
国 県 市町村

10年間の具体的な道路整備の進め方

掲載対象事業

所管別

高速・国直轄事業、県事業、市町村事業

事業種別

- ① 改築事業（バイパス整備、現道拡幅、線形改良、区画整理等）
- ② 交通安全対策事業（歩道整備、交差点改良等）
- ③ 防災事業（落石対策、電線共同溝、雪寒対策等）
- ④ 老朽化対策事業（老朽橋梁架替）

掲載事業の選定基準

1次選定

「改築事業」「交通安全対策事業」「防災事業」「老朽化対策事業」のうち、事業種別ごとに以下の全体事業費の条件を満たす事業を選定

	高速・国	県	市町村
改築事業	全事業	3億円以上	1億円以上
交通安全対策事業	-	2千万円以上	2千万円以上
防災事業	-	2千万円以上	2千万円以上
老朽化対策事業	-	3億円以上	1億円以上

2次選定

1次選定された事業のうち、以下の項目のいずれかに該当する事業を選定

県土整備プランの重点施策を推進させる事業 最重要

- ① 「災害レジリエンスNo.1」の実現に資する事業
 - ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築（レジリエンスネットワーク）

地域の課題解決に資する事業

- ① 県土整備プランの政策・施策の実現に向けて、地域別に重点的に取り組むべき事業
 - ・物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワークの構築
 - ・まちのまとまりをつなぐ道路整備 等
- ② 地域意見ヒアリング等を踏まえた地域ニーズの高い事業
- ③ 地域の主要プロジェクトを推進する事業

「群馬県道路整備アクションプログラム」へ掲載

「主要道路ネットワーク」全域図

レジリエンスネットワーク

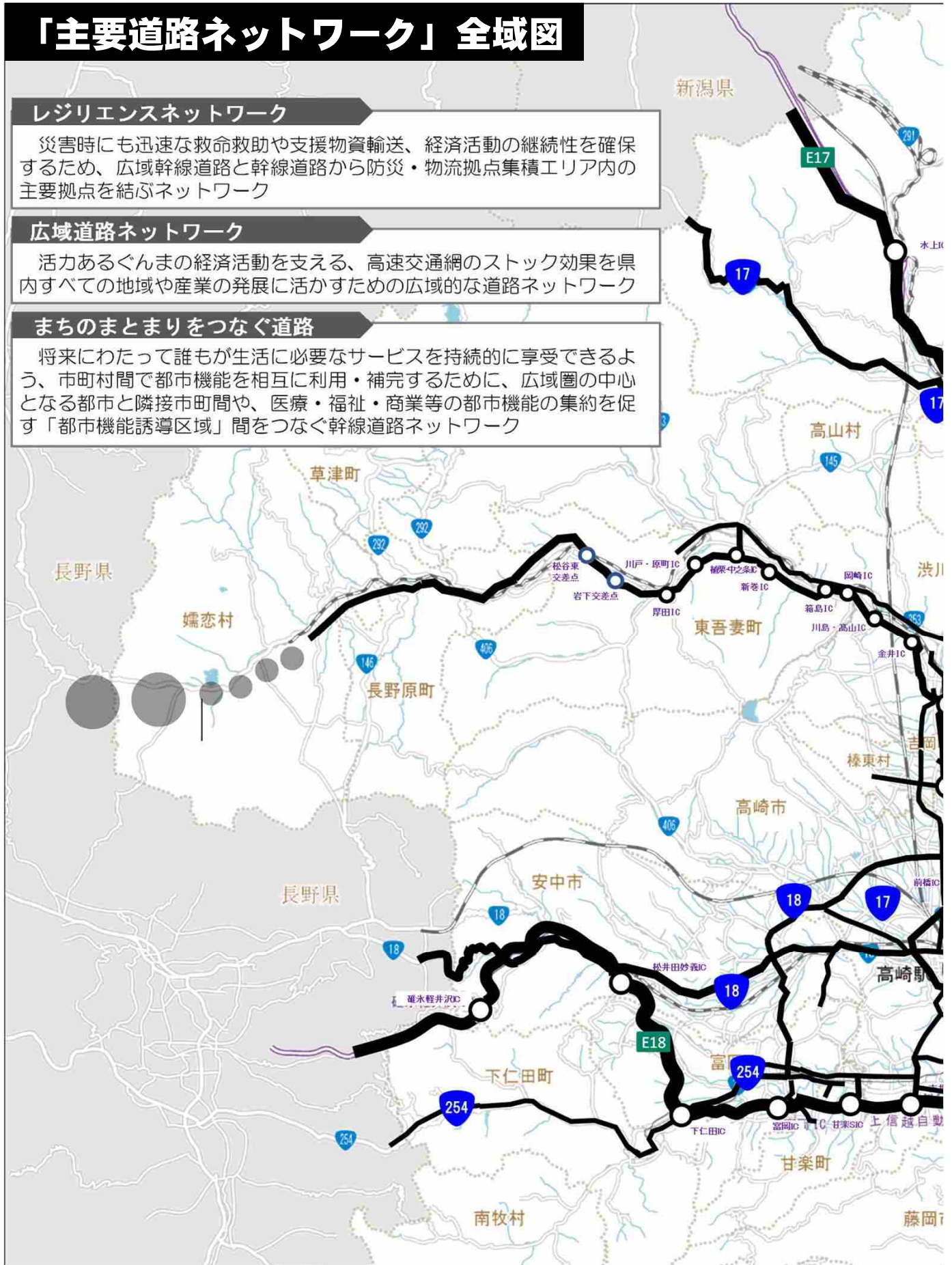
災害時にも迅速な救命救助や支援物資輸送、経済活動の継続性を確保するため、広域幹線道路と幹線道路から防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶネットワーク

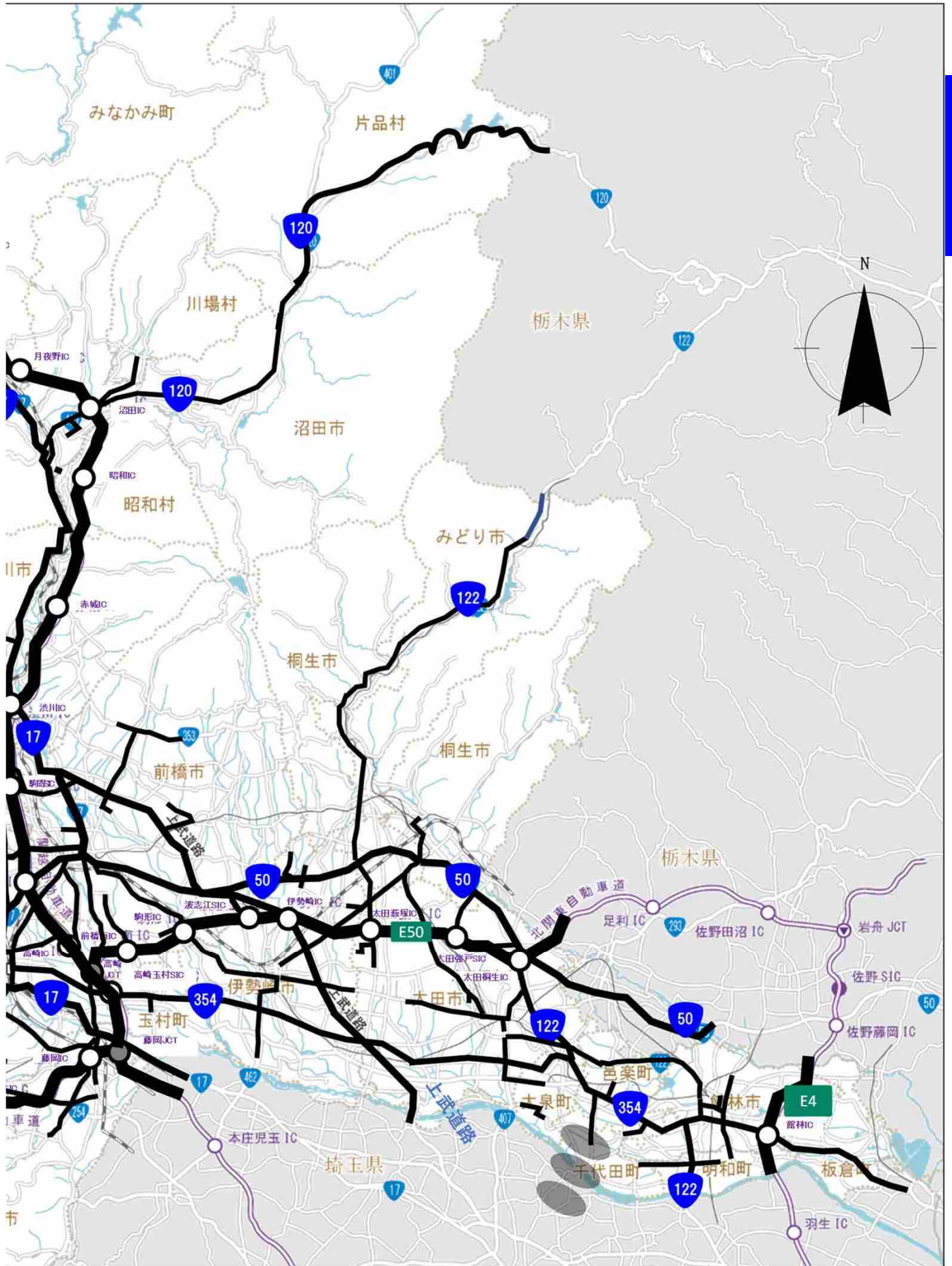
広域道路ネットワーク

活力あるぐんまの経済活動を支える、高速交通網のストック効果を県内すべての地域や産業の発展に活かすための広域的な道路ネットワーク

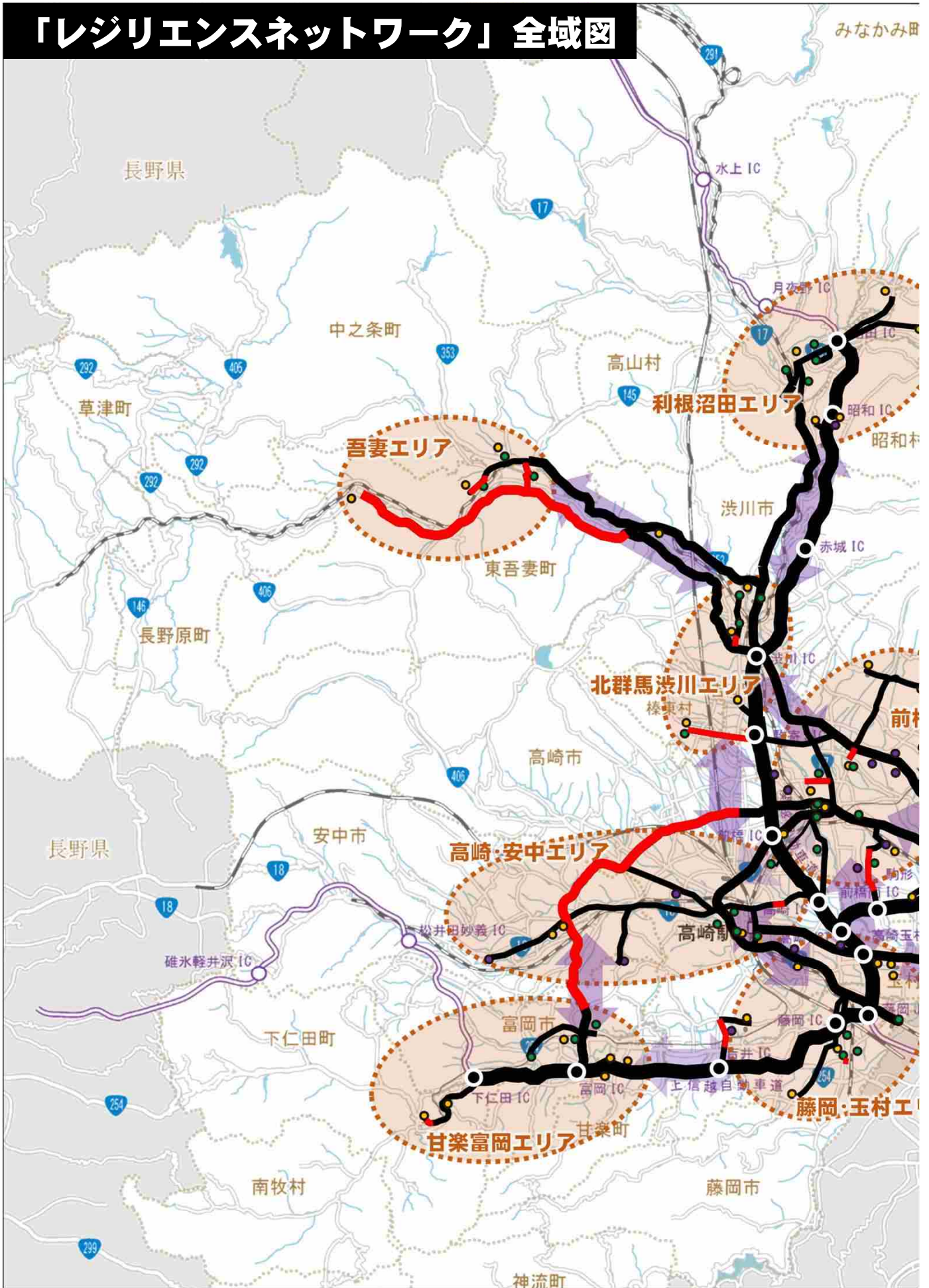
まちのまとまりをつなぐ道路

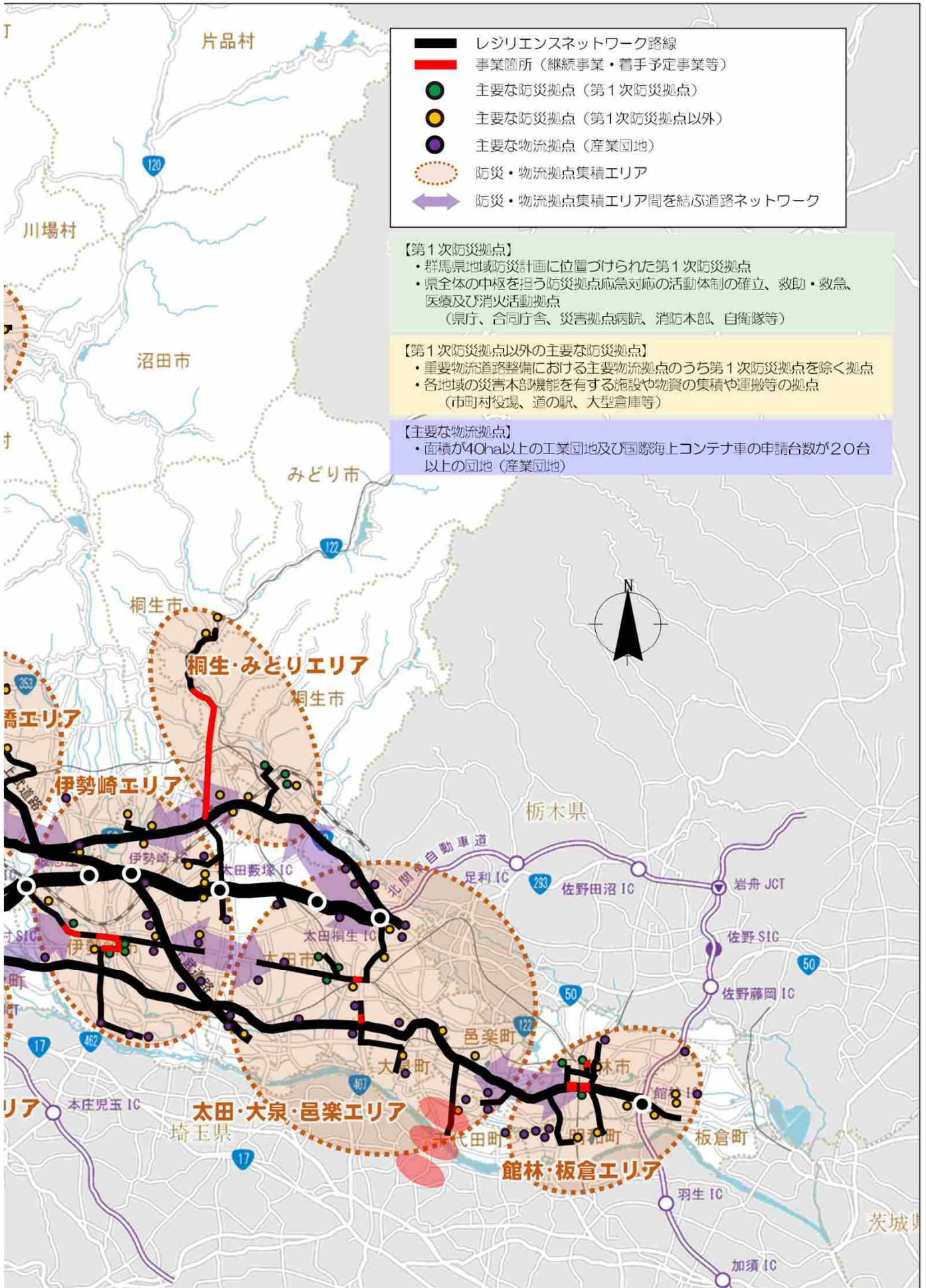
将来にわたって誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、市町村間で都市機能を相互に利用・補完するために、広域圏の中心となる都市と隣接市町間や、医療・福祉・商業等の都市機能の集約を促す「都市機能誘導区域」間をつなぐ幹線道路ネットワーク



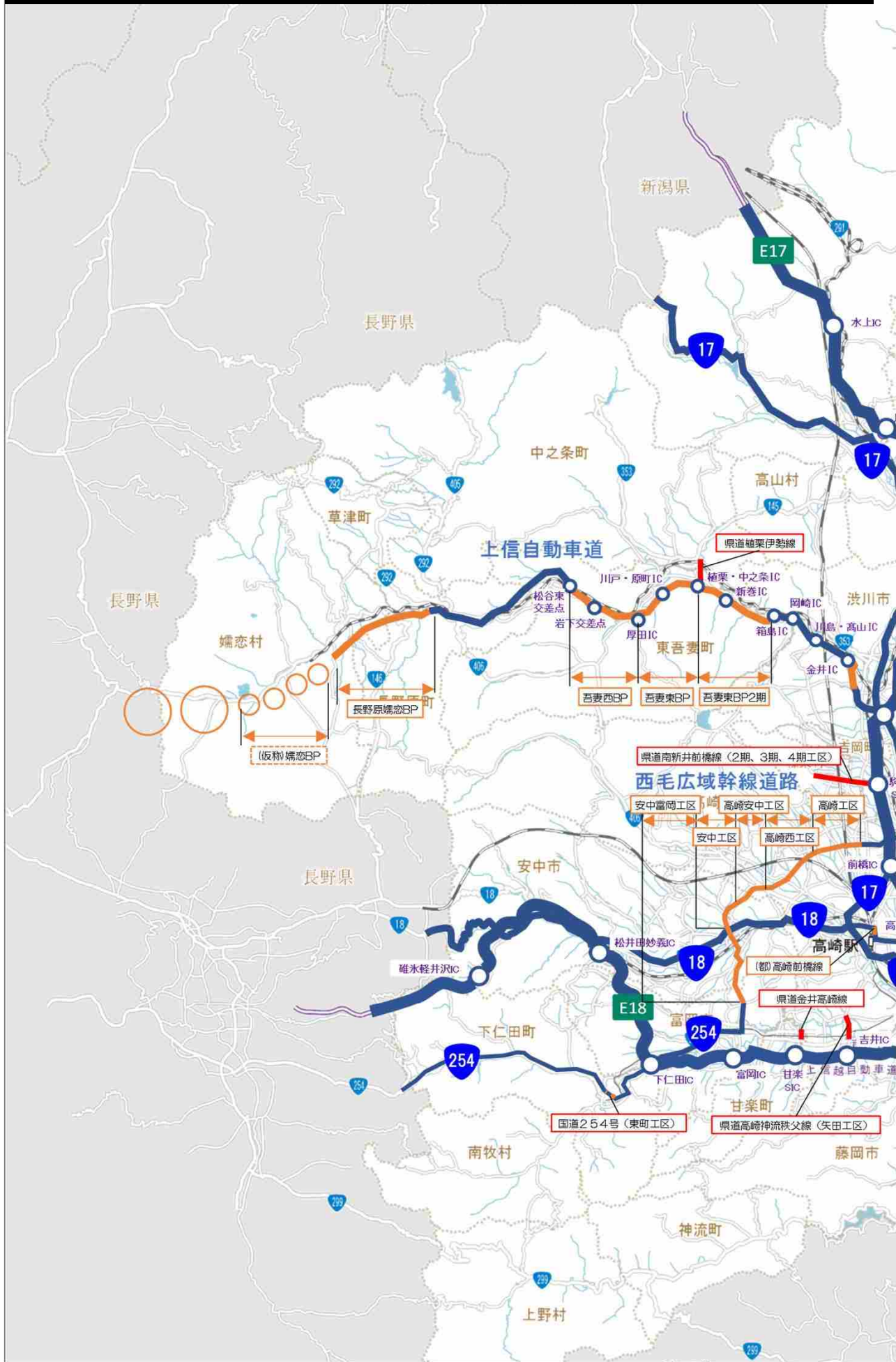


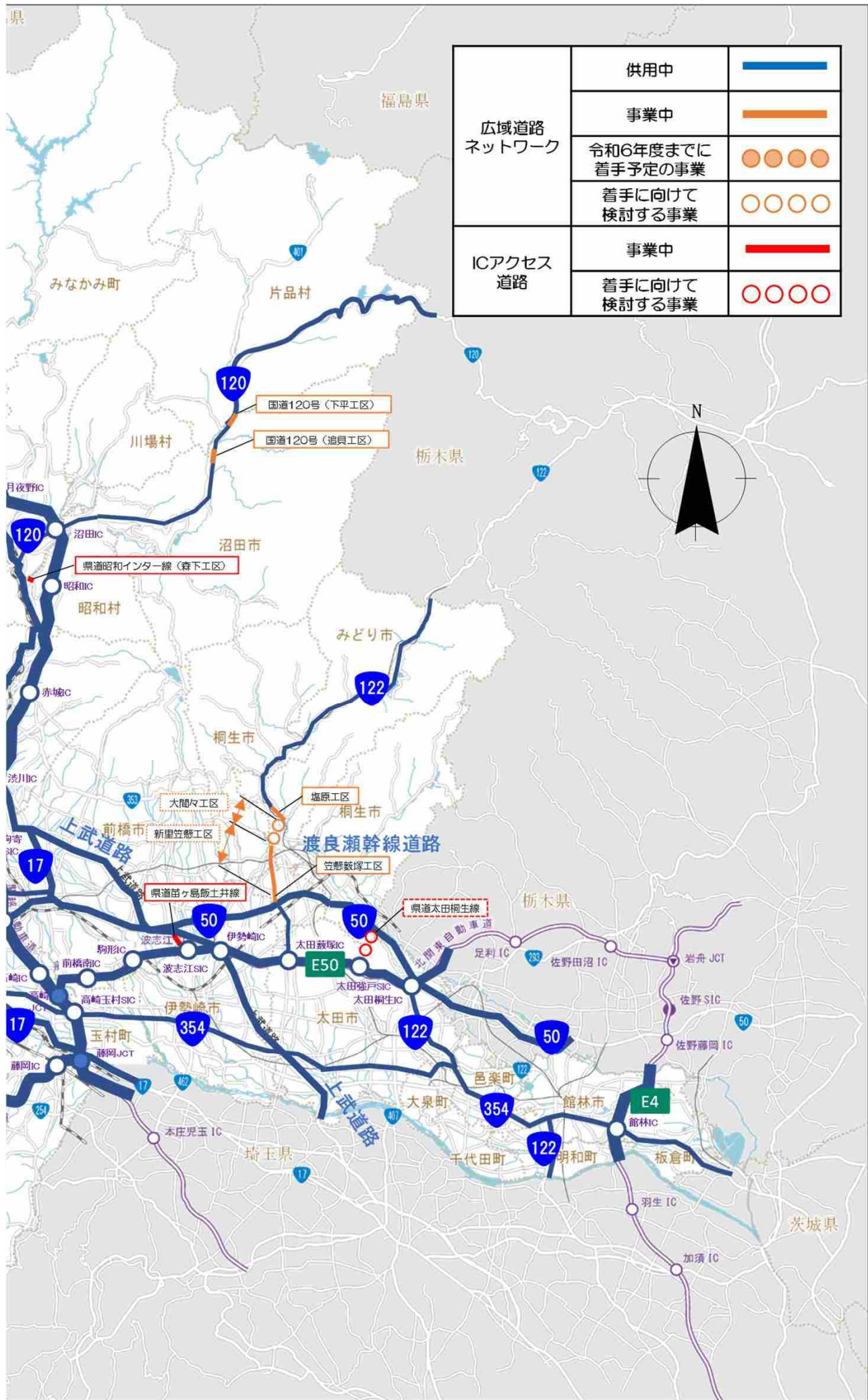
「レジリエンスネットワーク」全域図



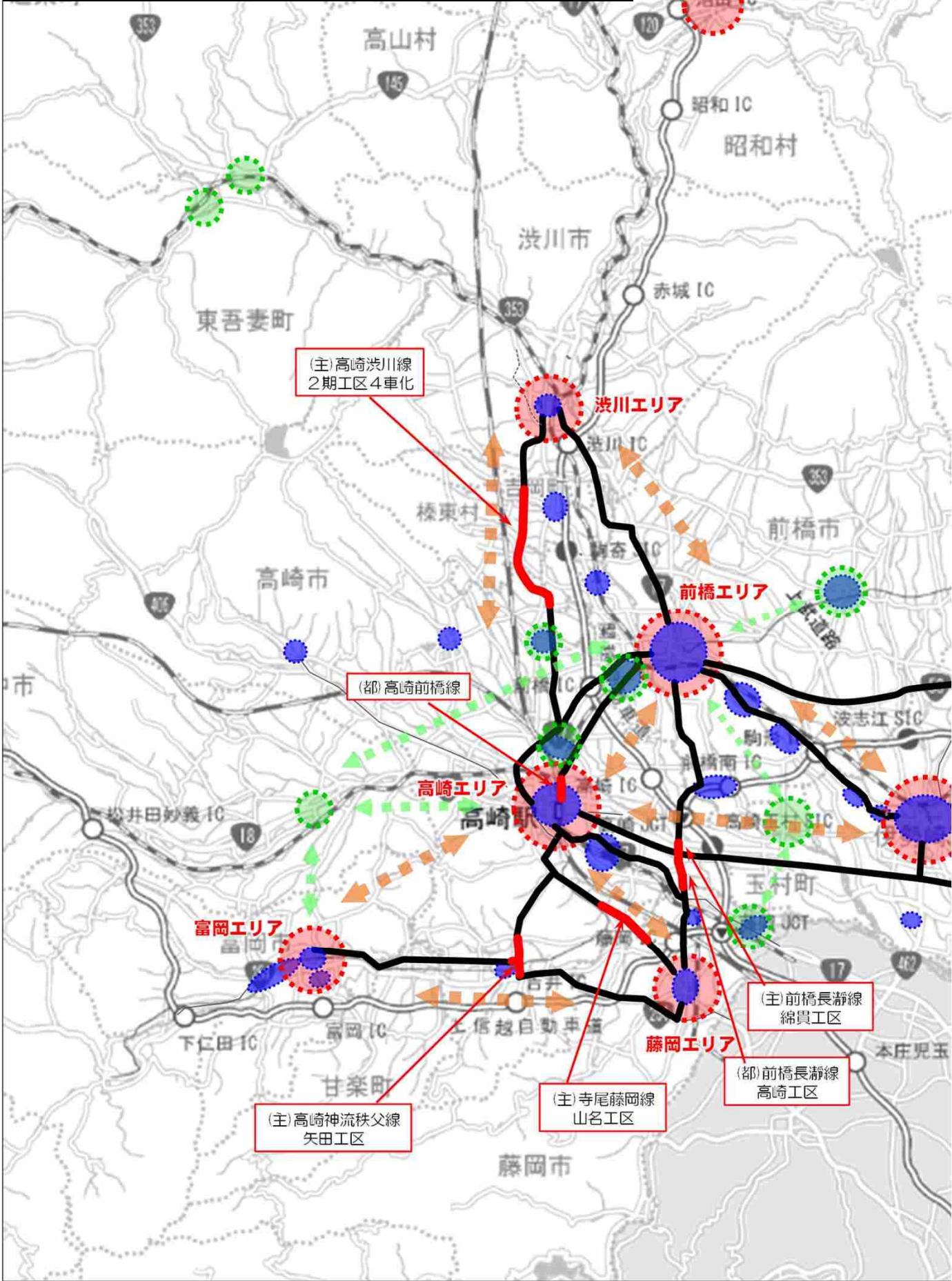


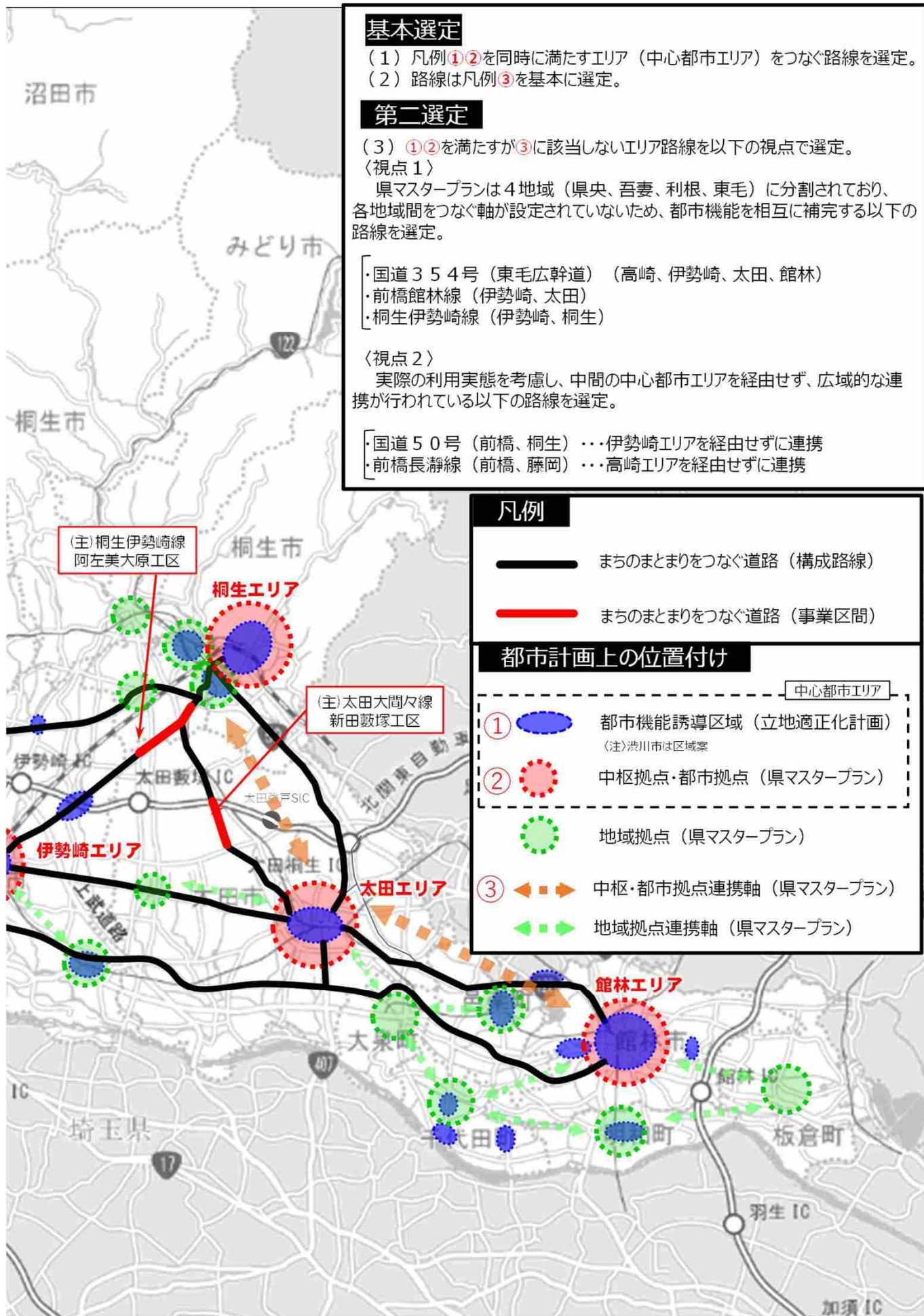
「物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワーク」全域図 (広域道路・高速ICアクセス道路)





「まちのまとまりをつなぐ道路」 全域図





基本選定

- (1) 凡例①②を同時に満たすエリア（中心都市エリア）をつなぐ路線を選定。
- (2) 路線は凡例③を基本に選定。

第二選定

- (3) ①②を満たすが③に該当しないエリア路線を以下の視点で選定。
- 〈視点1〉
県マスタープランは4地域（県央、吾妻、利根、東毛）に分割されており、各地域間をつなぐ軸が設定されていないため、都市機能を相互に補完する以下の路線を選定。

- ・国道354号（東毛広幹道）（高崎、伊勢崎、太田、館林）
- ・前橋館林線（伊勢崎、太田）
- ・桐生伊勢崎線（伊勢崎、桐生）

- 〈視点2〉
実際の利用実態を考慮し、中間の中心都市エリアを経由せず、広域的な連携が行われている以下の路線を選定。

- ・国道50号（前橋、桐生）・・・伊勢崎エリアを経由せずに連携
- ・前橋長瀬線（前橋、藤岡）・・・高崎エリアを経由せずに連携

凡例

- まちのまとまりをつなぐ道路（構成路線）
- まちのまとまりをつなぐ道路（事業区間）

都市計画上の位置付け

- 中心都市エリア
- ① 都市機能誘導区域（立地適正化計画）
〈注〉渋川市は区域案
 - ② 中枢拠点・都市拠点（県マスタープラン）
 - 地域拠点（県マスタープラン）
 - ③ 中枢・都市拠点連携軸（県マスタープラン）
 - 地域拠点連携軸（県マスタープラン）

前橋地域



前橋地域は、赤城山、利根川など豊かな自然や歴史・文化資源に恵まれるとともに、農業や商工業がバランスよく発展しています。

本県の中核をなす行政、医療、教育・文化、スポーツ施設などの、高次都市機能が集積する地域であり、市制施行120年の歴史と伝統を誇る群馬の県都として、人々の暮らしを支えてきました。

地域の優れた特性

- 赤城山の森林、利根川や広瀬川の水辺環境など、恵まれた自然環境が整っています。
- 正田醤油スタジアム群馬、上毛新聞敷島球場といったスポーツの拠点施設が整っています。
- 関越自動車道・北関東自動車道が交差する交通結節機能の高さなどから、企業立地や首都機能のバックアップ適地として注目されています。

地域の現状と課題

- 充実した医療機関や良好な住環境を活かし、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えるための取組が求められています。
- 交通結節機能の高さを活かした企業誘致の促進を図るため、高速道路へのアクセス道路の整備が求められています。
- 赤城山をはじめとする地域の観光振興を支援するため、観光地へのアクセス道路の整備が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生していることから、市街地等の円滑な交通を確保するための取組が必要です。
- 交通事故死者数が他地域に比べて多く、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 住宅街や通学路でも歩道が整備されていないところが多くあり、歩行者の安全確保が重要。
- 観光地としての赤城山へ向かう道路を、大型バスなどが安全に通行できるように道路整備を進めてほしい。
- 交差点に右折車線がなく、朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生しており、困っている。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道前橋赤城線の電線共同溝や県道南新井前橋線のバイパス整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 交通結節機能の高さを活かした企業誘致の促進を図るため、高速道路へのアクセス道路として県道苗ヶ島飯土井線の整備等を推進します。
- ② 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、(都)赤城山線や県道前橋大間々桐生線の歩道整備、県道前橋赤城線の電線共同溝の整備等を推進します。

主要事業一覧（前橋地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	県道前橋赤城線 落石対策	前橋市富士見町赤城山	R2	1
		2	県道前橋赤城線(上細井町工区) 電線共同溝	前橋市上細井町	R7	4
		3	県道前橋箕郷線(国領町工区) 電線共同溝	前橋市国領町	R9	10
		4	県道南新井前橋線(2期工区) バイパス整備	吉岡町陣場～前橋市池端町	R3	16
		5	県道前橋玉村線(朝倉工区) バイパス整備	前橋市朝倉町～下佐鳥町	R9	42
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	交通結節機能の高さを活かした企業誘致の促進を図るため 市街地等の円滑な通行を確保するため	6	県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス) 道路新設	前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町	R6	5
		17	県道前橋長瀬線 (上新田町交差点工区) 交差点改良	前橋市上新田町	R5	1
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	7	県道伊勢崎大胡線(上大屋町工区) 歩道整備	前橋市上大屋町	R2	1
		8	県道前橋西久保線(亀泉町工区) 歩道整備	前橋市亀泉町	R2	1
		9	県道前橋大間々桐生線 (西田面工区) 歩道整備	前橋市粕川町西田面～前皆戸	R5	4
		10	県道三夜沢国定停車場線 (深津工区) 歩道整備	前橋市粕川町深津	R5	9
		11	(都)赤城山線 歩道整備	前橋市北代田町～上細井町	R9	37
		12	(都)敷島公園大師線(2期工区) 歩道整備	前橋市青柳町～上細井町	R11	19
		13	県道前橋大間々桐生線 (三俣町工区) 電線共同溝	前橋市三俣町	R3	8
		14	県道前橋赤城線(小暮交差点工区) 電線共同溝	前橋市富士見町小暮	R7	11
		15	県道前橋大間々桐生線 (城東町工区) 電線共同溝	前橋市城東町	R8	8
16	県道前橋赤城線(北代田町工区) 電線共同溝	前橋市北代田町～若宮町	R9	4		

第2部
地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	18	県道前橋赤城線(時沢工区) 歩道整備	前橋市富士見町時沢	

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の観光振興を支援するため	19	県道大胡赤城線(苗ヶ島1期工区) 現道拡幅	前橋市苗ヶ島町	
		20	県道苗ヶ島飯土井線(3期工区) 道路新設	前橋市鼻毛石町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	21	県道大胡赤城線(河原浜町工区) 歩道整備	前橋市河原浜	
		22	県道前橋大間々桐生線(膳工区) 歩道整備	前橋市粕川町	
		23	県道津久田停車場前橋線 (北代田工区) 歩道整備	前橋市北代田町	
		24	県道前橋大間々桐生線 (上泉町工区) 電線共同溝	前橋市上泉町	

主要事業一覧（前橋地域）

4. 継続事業（市町村事業）その1

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費	
施策	目的						
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現							
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	25	駒寄スマートIC周辺道路整備 現道拡幅	前橋市池端町	R3	6	
政策3. 多様な移動手段の確保							
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な通行を確保するため	26	(都)県庁群大線 現道拡幅	前橋市大手町三丁目 ～平和町一丁目	R5	33	
		27	(都)群大北通線 道路新設	前橋市北代田町	R4	9	
		28	(都)上新田前箱田線 現道拡幅	前橋市箱田町 ～前箱田町	R10	16	
		29	県道津久田停車場線 交差点改良	前橋市北代田町	R4	1	
		30	(都)江田天川大島線(2工区) 道路新設	前橋市朝倉町	R5	5	
		31	(都)江田天川大島線(Ⅲ期) 道路新設	前橋市朝倉町	R5	16	
		32	市道00-182号線 (宮城4号線(北)) 現道拡幅	前橋市柏倉町	R10	5	
		33	市道20-3351号線ほか3路線 (宮城3351号線ほか) 現道拡幅	前橋市苗ヶ島町、 鼻毛石町	R8	5	
		59	市道11-712号線ほか1路線 (木瀬城南通線)Ⅱ期 バイパス整備	前橋市上増田町ほか	R12以降	21	
		75	市道00-047号線ほか2路線 現道拡幅	前橋市富田町	R7	2	
	施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	34	市道18-031号線 歩道整備	前橋市池端町	R3	2
			35	市道00-065号線(泉橋通線) 歩道整備	前橋市上泉町	R6	18
			36	市道00-360号線 (大胡110号線) 歩道整備	前橋市茂木町	R8	8
			37	市道00-398号線ほか1路線 (粕川2号線ほか) 歩道整備	前橋市粕川町中、 月田	R8	7
			38	市道00-199号線(時沢米野線) 歩道整備	前橋市富士見町時沢	R6	5
			39	市道21-3023号線ほか 歩道整備	前橋市粕川町前皆戸	R3	3
			40	市道00-196号線 (小暮石井線)Ⅱ期 歩道整備	前橋市富士見町 小暮ほか	R7	10
			42	(都)下川淵小北通線 歩道整備	前橋市鶴光路町ほか	R4	10
			43	市道04-972号線 自転車通行空間整備	前橋市田口町、 関根町	R6	5
			44	市道04-952号線 歩道整備	前橋市田口町	R4	2
45	市道00-101号線 歩道整備	前橋市朝倉町	R5	1			
46	市道00-028号線ほか1路線 (群大附中通線) 現道拡幅	前橋市幸塚町ほか	R7	7			
47	市道00-109号線(南高校通線) 歩道整備	前橋市上佐鳥町ほか	R8	6			
48	市道00-352号線(大胡) 歩道設置	前橋市滝窪町	R5	1			
49	市道00-105号線(西善玉村線) 歩道整備	前橋市西善町	R8	5			
50	市道00-081号線(木瀬中通線) 歩道設置	前橋市下長磯町	R8	1			
76	市道12-231号線(木瀬中通線) 現道拡幅	前橋市下長磯町	R8	1			
77	市道19-4043号線(大胡) 歩道設置	前橋市河原浜町	R9	1			

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）その2

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	51	小暮土地区画整理	前橋市富士見町小暮外	R9	58
		52	文京町四丁目土地区画整理	前橋市文京町四丁目	R12以降	87
		53	元総社蒼海土地区画整理	前橋市元総社町外	R12以降	240
		54	駒形第一土地区画整理	前橋市駒形町外	R12以降	255
		55	二中地区（第一）土地区画整理	前橋市三河町一丁目外	R12以降	89
		56	千代田三丁目土地区画整理	前橋市千代田町三丁目	R12以降	13
		57	新前橋駅前第三土地区画整理	前橋市古市町外	R12以降	13
		58	西部第一落合土地区画整理	前橋市元総社町外	R12以降	101

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な通行を確保するため	60	群馬総社駅西口線 道路新設・駅前広場整備	前橋市総社町植野ほか	
		61	(仮称) 細井小通線 道路新設	前橋市青柳町ほか	
		74	(都) 西部環状線 現道拡幅	前橋市元総社町ほか	
施策3 歩行者・自転車の安全な	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	41	市道00-191号線ほか6路線 (粕川3号線ほか) 歩道整備	前橋市粕川町新屋、大前田町ほか	
		68	市道00-170号線 (大胡3号線(北)) 歩道整備	前橋市堀越町	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な通行を確保するため	63	(都) 駒形駅前通線 道路新設	前橋市小屋原町	
		64	(都) 辻中島線 道路新設	前橋市富士見町小暮	
		65	(都) 朝日町下阿内線 現道拡幅	前橋市朝日町二丁目ほか	
		66	(都) 南部大橋線 現道拡幅	前橋市文京町四丁目ほか	
		67	(都) 城東朝倉線 現道拡幅	前橋市朝日町三丁目ほか	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	62	市道21-3085号線 (粕川3085号線ほか) 歩道整備	前橋市粕川町一日市ほか	
		69	市道21-3085号線南 (粕川新設道路) 歩道整備	前橋市粕川町一日市	

7. 継続事業（国直轄事業）

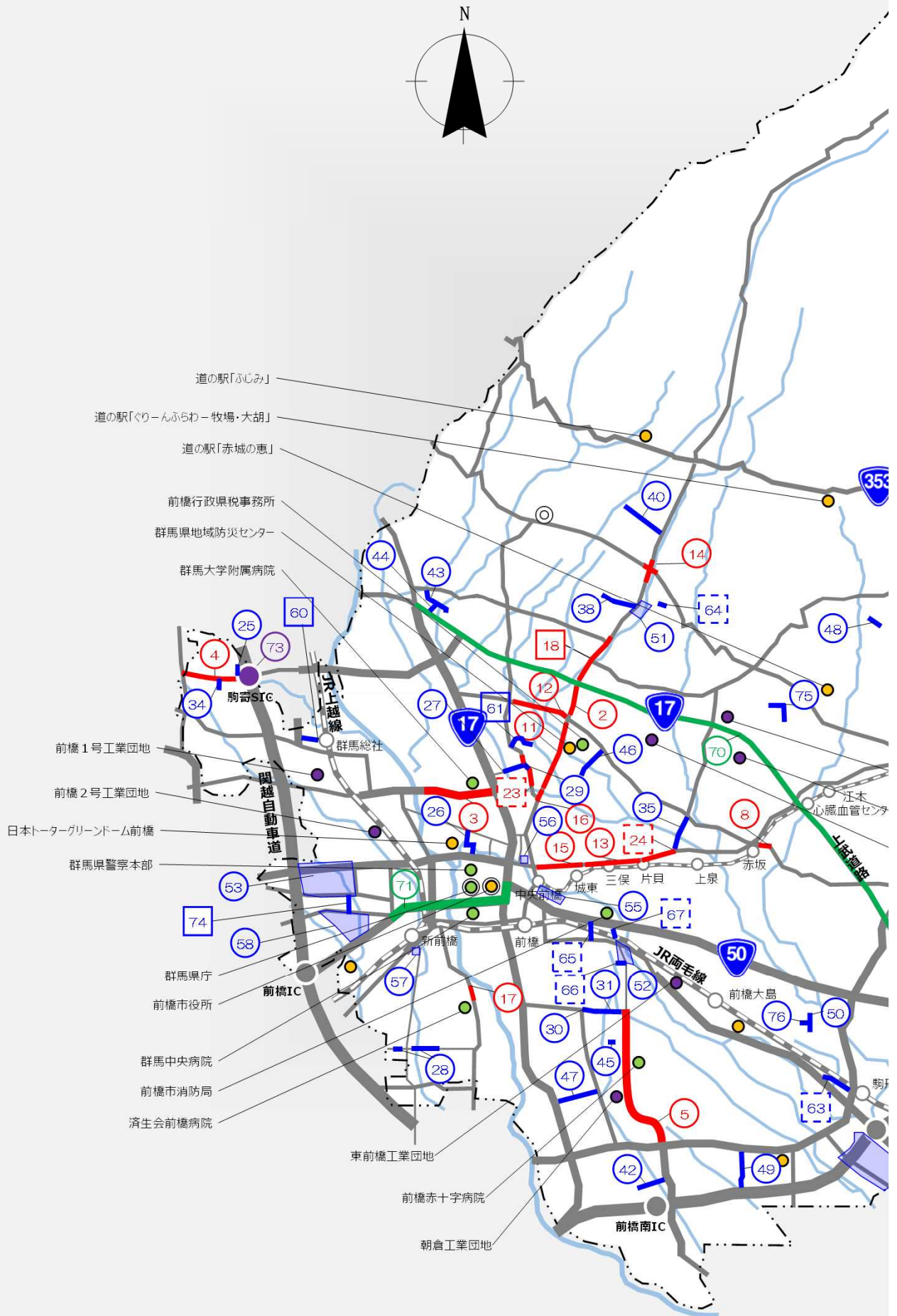
(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	70	国道17号 上武道路 バイパス整備	埼玉県熊谷市西別府～前橋市田口町		1,890
		71	国道17号 群馬大橋拡幅 現道拡幅	前橋市元総社町一丁目～本町一丁目		300
		72	国道50号 前橋笠懸道路 バイパス整備	前橋市今井町～みどり市笠懸町鹿		427

8. 継続事業（高速道路会社事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	駒寄スマートICと周辺地域の連携強化を図るため	73	関越自動車道(駒寄スマートIC) 大型車対応化	前橋市・吉岡町	R3完了

主要事業箇所図（前橋地域）



凡例

【事業分野区分】

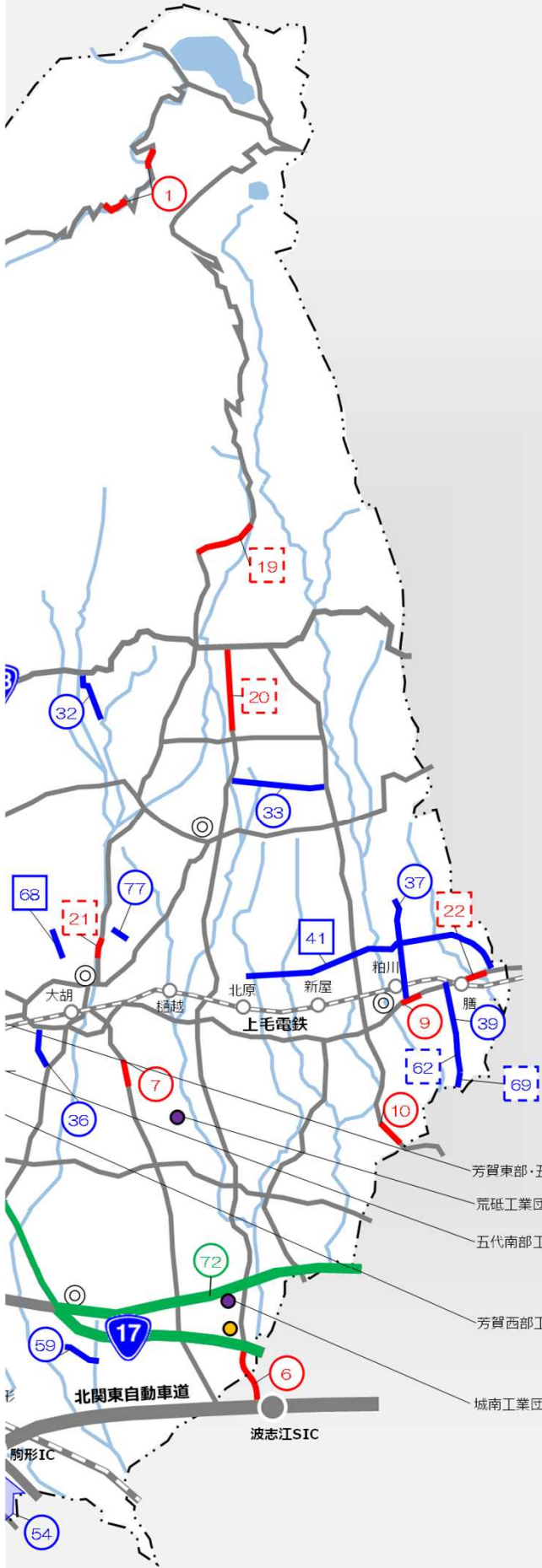
- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



- 芳賀東部・五代工業団地
- 荒砥工業団地
- 五代南部工業団地
- 芳賀西部工業団地
- 城南工業団地

5km

北群馬渋川地域

北群馬渋川地域は県の中央、関東平野の北端に位置し、伊香保温泉に代表される観光産業のほか、赤城山麓・榛名山麓に囲まれた農地では、標高差を活かした中山間地農業が行われ、観光農園でのフルーツ狩りも盛んです。また、首都圏方面から草津や嬭恋など県北西部への玄関口に当たる交通の要衝となっています。



地域の優れた特性

- 県内屈指の歴史と集客力を誇る伊香保温泉などの多彩な観光資源を有しています。
- 関越自動車道渋川伊香保インターチェンジは伊香保温泉のみならず、草津、四万、万座など県北西部観光地への玄関口となっています。
- 国道17号前橋渋川バイパスや県道高崎渋川線バイパス、国道17号上武道路等の整備により、県内各方面からのアクセスも格段に向上してきています。

地域の現状と課題

- 山間地の多さから豪雨時や地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 伊香保温泉などの地域の観光振興を支援するための取組が求められています。
- 交通ネットワークの拠点としての優位性を高め、広域的な地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 高速道路へのアクセス性の向上による、新たな企業誘致の促進や観光振興、周辺地域の連携強化を図るための取組が求められています。
- 歩道が未整備の通学路が多く、交通人身事故発生件数も多い地域のため、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 過去に被害があった箇所ので土砂災害対策を実施してほしい。
- 交通量が多いが、歩道が整備されていない箇所等における子どもの通学の安全性に不安がある。
- 駒寄スマートIC※の大型車利用が可能になるので、渋川、榛東、吉岡の連携を踏まえた一層の観光振興が必要である。
- 伊香保温泉などの地域の観光資源の活用につながるアクセス道路等の整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道353号の落石対策や県道南新井前橋線のバイパス整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の観光振興を支援するため、県道渋川下新田線の線形改良等を推進します。
- ② 広域的な地域間連携の強化を図るため、県道高崎渋川線バイパス4車線化の整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道高崎安中渋川線や県道分郷八崎寄居線の歩道整備等を推進します。

※ 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（北群馬渋川地域）

1. 継続事業（県事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道353号(村上工区) 落石対策	渋川市村上	R4	18
		2	県道南新井前橋線(2期工区) バイパス整備	吉岡町陣場 ～前橋市池端町	R3	16
		3	県道南新井前橋線(3期工区) バイパス整備	榛東村新井 ～吉岡町陣場	R2	14
		4	県道南新井前橋線(4期工区) バイパス整備	榛東村新井	R8	32
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域の観光振興を支援するため	5	県道津久田停車場前橋線(滝沢工区) バイパス整備	渋川市赤城町滝沢	R3	3
		6	県道渋川下新田線(小野子工区) 線形改良	渋川市小野子	R9	4
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	広域的な地域間連携を強化するため	7	県道高崎渋川線(2期工区) バイパス4車線化	榛東村新井 ～吉岡町小倉	R2	4
		8	県道渋川松井田線(伊香保工区) 歩道整備	渋川市伊香保町伊香保	R3	4
		9	県道前橋伊香保線(大久保工区) 歩道整備	吉岡町大久保	R6	2
		10	県道分郷八崎寄居線(真壁工区) 歩道整備	渋川市北橋町真壁	R5	2
		11	県道高崎安中渋川線(八木原工区) 歩道整備	渋川市八木原	R11	8
		12	県道前橋伊香保線(伊香保交差点) 交差点改良	渋川市伊香保町伊香保	R4	3
		13	(都) 渋川高崎線(街中工区) 歩道整備	渋川市石原	R11	18
15	国道353号(北牧工区) 歩道整備	渋川市北牧	R14	5		

第2部 地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	14	県道前橋伊香保線(上野田工区) 歩道整備	吉岡町上野田	

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	駒寄スマートICと周辺地域の連携強化を図るため	16	県道前橋伊香保線 バイパス整備	吉岡町大久保 ～上野田	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	17	県道高崎安中渋川線(山子田工区) 歩道整備	榛東村山子田	

主要事業一覧（北群馬渋川地域）

4. 継続事業（市町村事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	18	町道大久保・南下線 駒寄SICアクセス道路整備	吉岡町大久保	R3	18
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携を強化するため	19	市道1-1566号線 現道拡幅	渋川市八木原	R3	3
		20	市道折原川島線 現道拡幅	渋川市金井	R11	4
		23	市道1-1507号線 現道拡幅	渋川市八木原	R7	1
		24	市道1-1509号線ほか1路線 現道拡幅	渋川市八木原	R7	1
		25	市道1-2046号線外2路線 現道拡幅	渋川市有馬ほか	R9	8
		28	(都) 漆原総社線 現道拡幅	吉岡町漆原	R8	5
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	地域の観光振興を支援するため	26	伊香保地区外環 バイパス整備	渋川市伊香保町伊香保ほか	R13	2
		27	村道長谷津・つつじヶ丘線 ほか1路線 歩道再整備	榛東村新井	R3	1

第2部
地域計画編

5. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携を強化するため	29	(都) 半田南線 現道拡幅	渋川市半田	
		30	市道6-1123号線外2路線 現道拡幅	渋川市北橋町下箱田	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	31	市道南中前線 歩道整備	渋川市溝呂木ほか	
		36	(都) 金井新町高源地線外1路線 歩道整備	渋川市石原	

6. 継続事業（国直轄事業）

（全体事業費：億円）

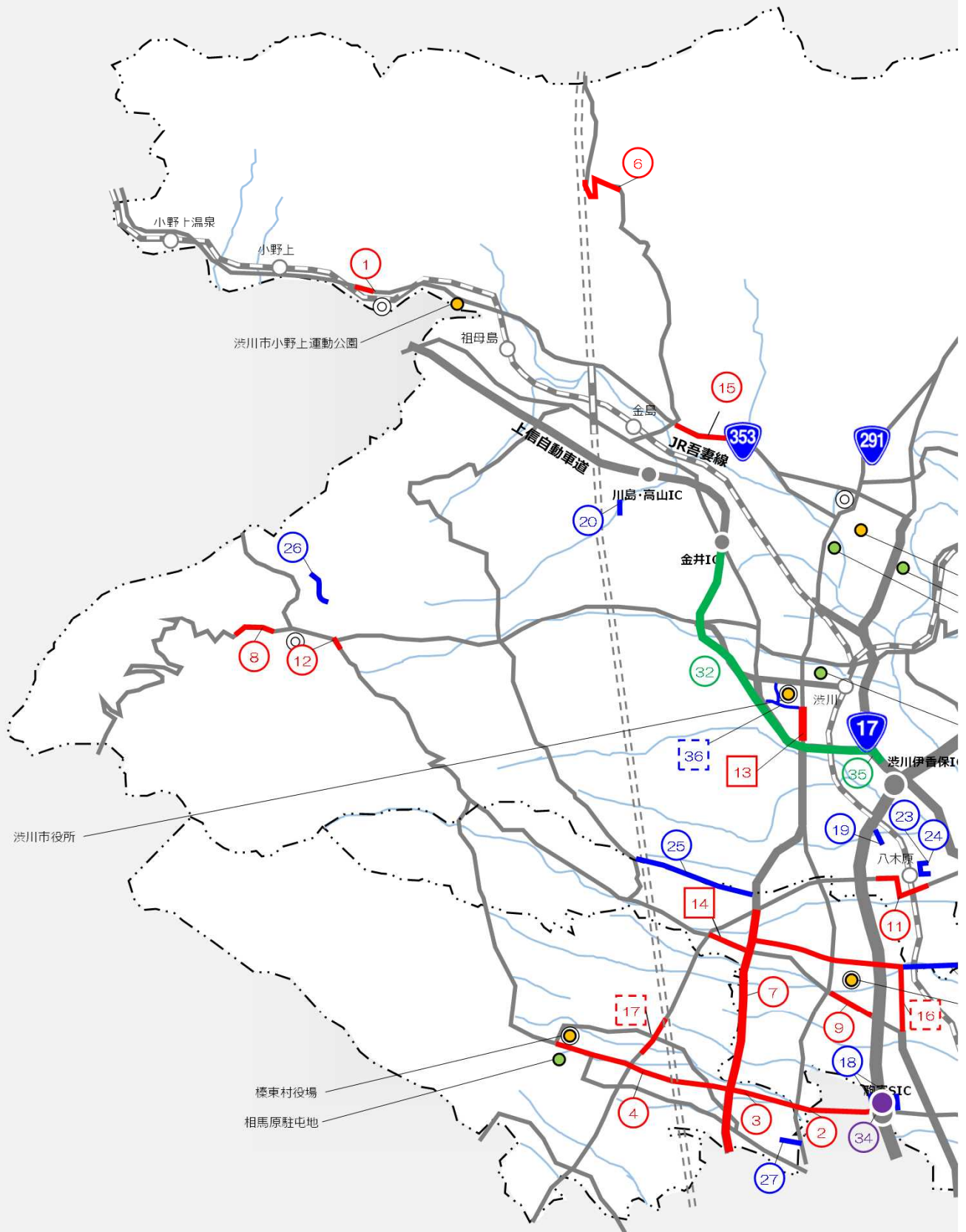
政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	32	国道17号 （上信自動車道・渋川西バイパス） バイパス整備	渋川市中村～金井	R7	250
		33	国道17号（綾戸バイパス） バイパス整備	渋川市上白井 ～沼田市岩本町		157
		35	国道17号 中村交差点立体	渋川市中村		30

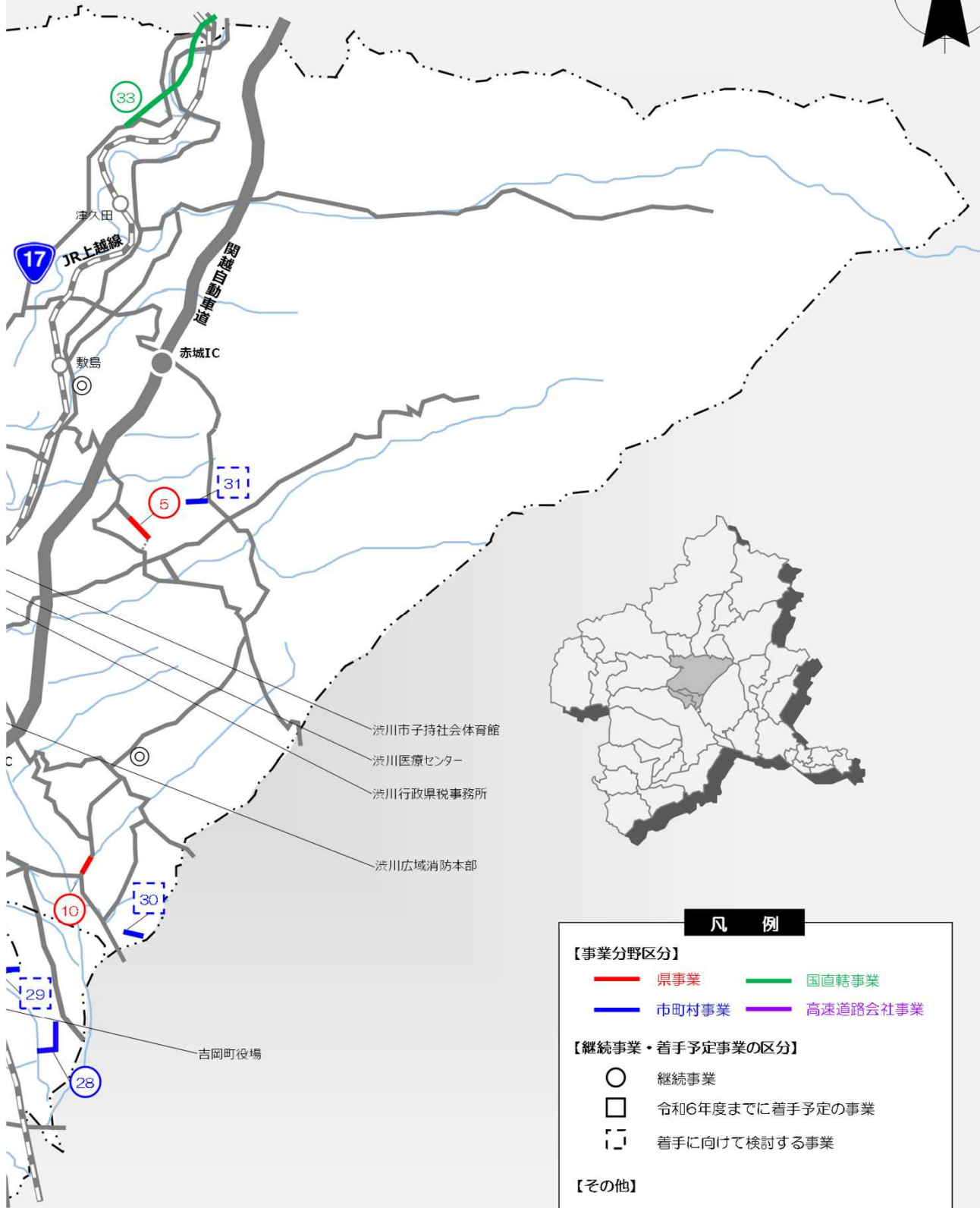
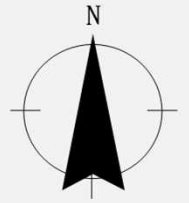
7. 継続事業（高速道路会社事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	駒寄スマートICと周辺地域の連携強化を図るため	34	関越自動車道（駒寄スマートIC） 大型車対応化	前橋市・吉岡町	R3完成

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

主要事業箇所図（北群馬渋川地域）





凡 例

【事業分野区分】

- 県事業 — 国直轄事業
- 市町村事業 — 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

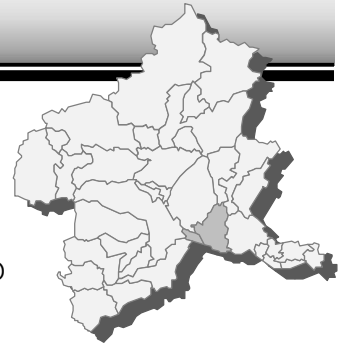
- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）

佐波伊勢崎地域

佐波伊勢崎地域は、県の中南部に位置し、東京から100km圏内にあり、一部に丘陵地があるほかは、ほぼ平坦な地域です。年少人口と生産年齢人口の割合が高く、農業と商工業がバランス良く発展しています。また、埼玉県と接し、関越自動車道、北関東自動車道、東毛広域幹線道路等主要幹線道路が整備され、10km以内に多くのインターチェンジを有しています。鉄道においてもJR両毛線と東武伊勢崎線があり、交通の利便性が優れています。



地域の優れた特性

- 東京圏に近く、高速交通網の効果が地域全体に行き渡るなど交通の利便性が高く、輸送用機器や業務用機器等の製造業が盛んで製造品出荷額も多く、企業集積が進んでいます。
- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である田島弥平旧宅をはじめ、日光例幣使街道、華蔵寺公園や道の駅「玉村宿」などの魅力ある地域資源があります。

地域の現状と課題

- 地域経済の更なる活性化につながるよう、地域間連携を強化するための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化による地域経済の活性化を図るための取組が求められています。
- 市街地等の交通渋滞を解消し、円滑な交通を確保するための取組が求められています。
- 通学路を中心に、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 通学路となっているのに、歩道が無いところがあるため、通学するのに不安がある。
- 過去に道路が冠水し、通行止めや周辺家屋等への浸水被害が発生した箇所の対策をしてほしい。
- バランスのとれたまちづくりや積極的な都市間連携を進めてほしい。
- 市街地や交差点等での渋滞が発生しているため、渋滞対策を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道前橋館林線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、高速道路へのアクセス道路である県道苗ヶ島飯土井線の整備等を推進します。
- ② 市街地等の円滑な交通を確保するため、(都)上矢島米岡線のバイパス整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道駒形柴町線の歩道整備等を推進します。
- ④ 地域間連携を強化するため、交通渋滞箇所の緩和に向けた検討を行います。

主要事業一覧（佐波伊勢崎地域）

1. 継続事業（県事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	県道前橋館林線(連取町2期工区) 電線共同溝	伊勢崎市連取町	R5	7
		2	国道462号(今泉町工区) 電線共同溝	伊勢崎市今泉町	R5	13
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス						
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維持させるため	3	県道伊勢崎深谷線(上武大橋) 老朽橋架替	伊勢崎市境平塚 ～埼玉県深谷市中瀬	R4	63
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	物流の効率化による地域経済の活性化を図るため	4	県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス) 道路新設	前橋市飯土井町 ～伊勢崎市波志江町	R6	5
		5	(都)上矢島米岡線 パイパス整備	伊勢崎市境東 ～境米岡	R11	12
		10	県道伊勢崎深谷線 (茂呂町二丁目交差点) 交差点改良	伊勢崎市茂呂町	R9	4
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	6	県道香林羽黒線(下植木町工区) 歩道整備	伊勢崎市下植木町	R2	1
		7	県道綿貫篠塚線(下新田工区) 歩道整備	玉村町下新田	R2	4
		8	県道駒形柴町線(宮古町工区) 歩道整備	伊勢崎市宮古町	R2	3
		11	県道綿貫篠塚線(下新田2期工区) 歩道整備	玉村町下新田	R9	2

第2部
地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	9	県道前橋館林線(東本町工区) 電線共同溝	伊勢崎市本町 ～東本町	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	12	県道藤岡大胡線(角洲南工区) 歩道整備	玉村町角洲	
		13	県道伊勢崎大胡線(波志江町工区) 歩道整備	伊勢崎市波志江町	
		14	県道境木島大間々線 (東小保方町工区) 歩道整備	伊勢崎市東小保方町	
		15	県道伊勢崎大胡線(太田町工区) 電線共同溝	伊勢崎市太田町	

主要事業一覧（佐波伊勢崎地域）

第2部
地域計画編

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な通行を確保するため	16	県道桐生伊勢崎線 (西小保方町交差点) 交差点改良	伊勢崎市西小保方町	
		17	県道伊勢崎大胡線 (波志江町三丁目交差点) 交差点改良	伊勢崎市波志江町	
		18	県道桐生伊勢崎線 (都)北部環状線) バイパス整備	伊勢崎市上諏訪町 ～鹿島町	
	地域間連携を強化するため	19	県道藤岡大胡線(角刈工区) バイパス整備	玉村町角刈 ～上飯島	
施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	20	県道高崎伊勢崎線(田中町工区) 歩道整備	伊勢崎市田中町	

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成 予定	全体 事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な交通を確保するため	21	町道103号線 現道拡幅	玉村町下茂木地区	R9	22
		22	市道(境)115号線 バイパス整備	伊勢崎市境下武士	R10	8
		23	市道(伊)103号線 バイパス整備	伊勢崎市日乃出町	R9	11
		24	市道(伊)9-530号線 バイパス整備	伊勢崎市国領町	R7	6
施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	25	市道(赤)112号線 歩道整備	伊勢崎市市場町 二丁目	R6	8
		26	市道(伊)103号線 歩道整備	伊勢崎市日乃出町	R3	4
		27	(都)3・4・44号駅南東西通り (駅西工区) 歩道整備	伊勢崎市太田町	R6	10
		32	市道(東)4-409号線 歩道整備	伊勢崎市田部井町 二丁目ほか	R4	2
		37	市道(伊)223号線 歩道整備	伊勢崎市田中島町 ほか	R7	1
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住 まいづくり	市街地の良好な都市景観や 居住環境を確保するため	28	茂呂第一土地区画整理	伊勢崎市北千木町外	R12	147
		29	伊勢崎駅周辺第一土地区画整理	伊勢崎市曲輪町外	R17	250
		30	伊勢崎駅周辺第二土地区画整理	伊勢崎市太田町外	R10	83

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地等の円滑な交通を確保するため	31	市道(伊)215号線 バイパス整備	伊勢崎市柴町	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	34	市道(境)3-140号線 歩道整備	伊勢崎市境伊与久	

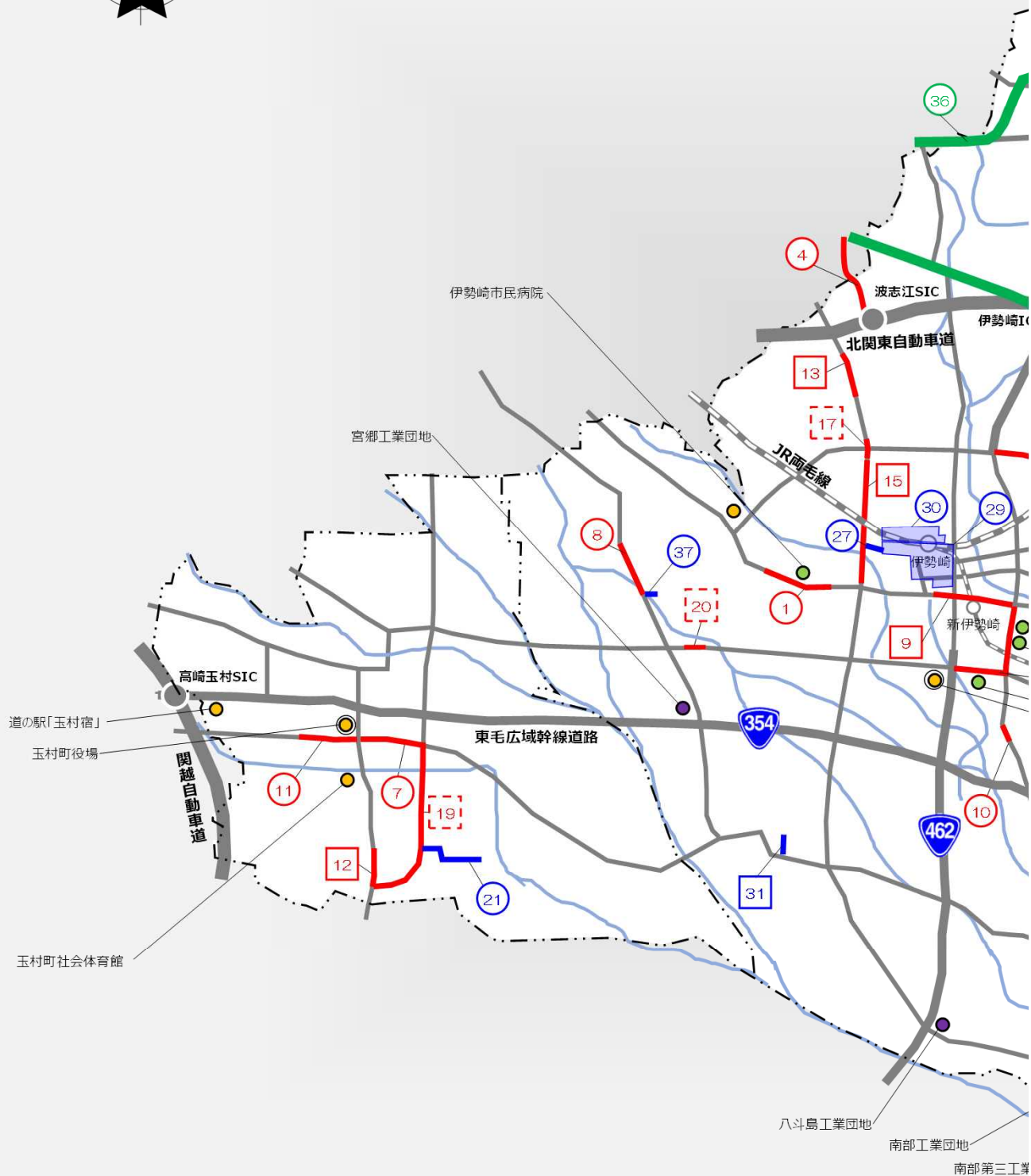
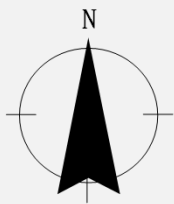
7. 継続事業（国直轄事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成 予定	全体 事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	35	国道17号 上武道路 バイパス整備	埼玉県熊谷市西別府 ～前橋市田口町		1,890
		36	国道50号 前橋笠懸道路 バイパス整備	前橋市今井町 ～みどり市笠懸町鹿		427

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

主要事業箇所図（佐波伊勢崎地域）



凡例

【事業分野区分】

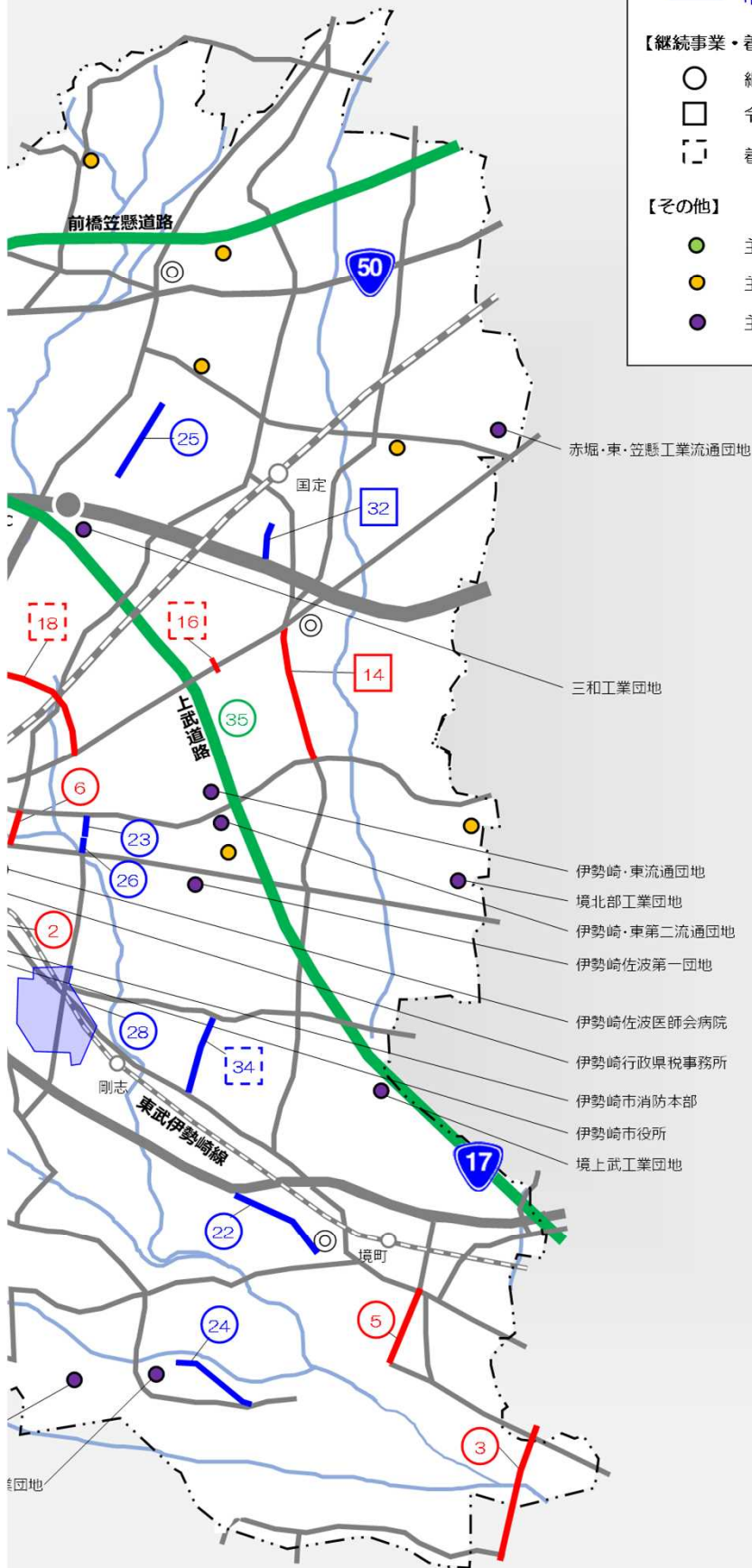
- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

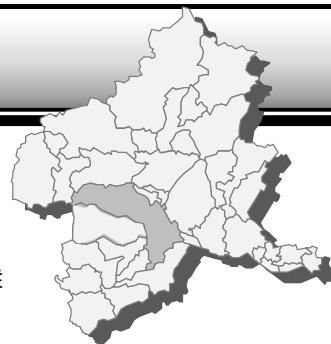
【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



5km

高崎地域



高崎地域は、商工業が発達している都市部と、農林業を主とした中山間地域を有し、都市観光から自然体験型レジャーなど多彩な魅力ある観光資源が多く存在します。

また、新幹線や高速道路網が充実し、東京圏からの群馬の玄関口としての役割や、高崎駅周辺地区においては、大規模商業施設や「Gメッセ群馬」などの、新たな拠点施設が完成し、更なる発展が期待されています。

地域の優れた特性

- 西毛地域の中心地で、群馬を代表する北関東の中核都市です。高崎駅を中心に商業施設の集積やビジネス環境が整い、活力ある中心市街地を形成しています。集客力が高い魅力ある都市として、県全体の活性化への力強い牽引役が期待されています。
- 平成29年10月にユネスコ「世界の記憶※」に登録された「上野三碑」など、貴重な遺産が受け継がれています。

地域の現状と課題

- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べ低く、交通人身事故発生件数も多いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。
- 全国から人を呼び込む魅力あるまちづくりに向け、市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するための取組が求められています。
- 地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生しており、市街地の円滑な交通を確保し、鉄道駅や「Gメッセ群馬」へのアクセス性向上を図るための取組が求められています。
- 中山間地域では人口流出が続き、森林・里山の荒廃や耕作放棄地の増加が懸念されていることから、農林業や観光業などの中山間地域における地場産業の振興を図るための取組が求められています。



県民の声

- 過去に溢れた箇所の水害対策を進めてほしい。
- 学校周辺の通学路の安全点検や歩道整備を進めてほしい。
- 地域間を結ぶ西毛広域幹線道路の早期整備をお願いしたい。
- 交通渋滞が著しい箇所の対策を進めてほしい。
- 農林業・観光振興の充実や地場生産品等のブランド化などによる産業振興が重要

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道渋川松井田線の落石対策や西毛広域幹線道路の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 農林業や観光業などの中山間地域における地場産業の振興を図るため、フルーツラインの整備等を推進します。
- ② 地域間連携を強化するため、県道高崎渋川線バイパス4車線化整備、(都)前橋長瀬線の現道拡幅等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道井野停車場線の歩道整備等を推進します。

※ 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（高崎地域）

1. 継続事業（県事業）その1

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	県道渋川松井田線 落石対策	高崎市榛名湖町・榛名山町	R2	2
		2	県道高崎駒形線(上大類町工区) 電線共同溝	高崎市上大類町	R5	4
		3	西毛広域幹線道路(高崎西工区) バイパス整備	高崎市箕郷町下芝～下里見町	R5	165
		4	西毛広域幹線道路(高崎工区) バイパス整備	高崎市棟高町～箕郷町下芝	R11	150
		5	西毛広域幹線道路(高崎安中工区) バイパス整備	高崎市下里見町～安中市下秋間	R11	103
		6	県道高崎神流秩父線(矢田工区) バイパス整備	高崎市吉井町岩崎～矢田	R11	85
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	中山間地域の地盤産業の振興を図るため	7	榛名南麓2期地区(フルーツライン) 農道整備	高崎市中室田町～箕郷町矢原	R3	26
		地域間連携を強化するため	8	県道高崎渋川線(2期工区) バイパス4車線化	高崎市金古町	R2
	9		県道箕郷板鼻線(富岡工区) 現道拡幅	高崎市箕郷町和田山～富岡	R2	4
	10		県道寺尾藤岡線(山名工区) バイパス整備	高崎市根小屋町～藤岡市篠塚	R6	70
	11		国道406号(権田工区) 現道拡幅	高崎市倉沢町権田	R6	4
	12		県道前橋長瀬線(綿貴工区) 現道拡幅	高崎市綿貴町	R6	14
	13		(都)前橋長瀬線(高崎工区) 現道拡幅	高崎市綿貴町～岩鼻町	R8	49
	市街地の円滑な交通を確保するため	14	(都)高崎前橋線 現道拡幅	高崎市江木町～芝塚町	R12以降	31
「Gメッセ群馬」へのアクセス性向上を図るため	15	(都)競馬場通り線 現道拡幅	高崎市双葉町～上中居町	R2	25	

第2部 地域計画編

主要事業一覧（高崎地域）

1. 継続事業（県事業）その2

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	16	国道406号(君が代橋西交差点)交差点改良	高崎市下豊岡町	R2	3
		17	県道安中榛名湖線(榛名山町八本松交差点)交差点改良	高崎市上室田町	R2	2
		18	(都) 笛木通り線 歩道整備	高崎市新町	R2	8
		19	県道高崎神流秩父線(吉井町神保工区) 歩道整備	高崎市吉井町神保	R4	3
		20	県道前橋箕郷線(足門町工区) 歩道整備	高崎市足門町	R5	2
		21	国道406号(下室田町工区) 歩道整備	高崎市下室田町	R5	4
		22	国道406号(三ノ倉工区) 歩道整備	高崎市倉淵町三ノ倉	R5	3
		23	国道254号(下長根工区) 歩道整備	高崎市吉井町下長根	R5	1
		24	県道井野停車場線(井野町工区) 歩道整備	高崎市井野町	R9	9
		25	県道高崎渋川線(住吉町工区) 電線共同溝	高崎市住吉町	R4	6
26	県道高崎渋川線(大橋町工区) 電線共同溝	高崎市大橋町	R4	2		

第2部
地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	27	新町駅付近 鉄道高架化	高崎市新町	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	28	市道宿横手大沢線(第3工区) バイパス整備	高崎市宿横手町～西横手町	R10	10
		29	市道矢中下斎田線(第2工区) バイパス整備	高崎市栗崎町～綿貫町	R15	12
		30	市道箕郷和田山・白川線 現道拡幅	高崎市箕郷町白川ほか	R9	4
		31	市道榛名4-727号線 バイパス整備	高崎市下里見町	R9	6
		32	(都)高前幹線 バイパス整備	高崎市上中居町	R11	31
		42	豊岡経大通り線 バイパス整備	高崎市上豊岡町ほか	R12	65
		48	八幡工業団地北通り線 現道拡幅	高崎市上豊岡町ほか	R8	6
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	33	市道堤下線(井出町工区) 交差点改良	高崎市井出町	R10	4
		34	市道(仮称)浜川運動公園通り線(浜川町工区) 歩道整備	高崎市上小島町～浜川町	R20	14
		35	市道榛名-107号線 歩道整備	高崎市中室田町	R15	5
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	36	新保・日高土地区画整理	高崎市新保町ほか	R6	75
		37	高崎駅周辺(西口)土地区画整理	高崎市真町ほか	R12	207
		38	高崎操車場跡地周辺土地区画整理	高崎市下之城町ほか	R6	179
		39	菅谷高畑土地区画整理	高崎市菅谷町	R6	45
		40	倉賀野駅北土地区画整理	高崎市倉賀野町ほか	R8	38
		41	中央第二土地区画整理	高崎市棟高町ほか	R15	137

第2部
地域計画編

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	43	市道宿横手大沢線(第4工区) バイパス整備	高崎市宿横手町～西横手町	
		44	(仮称)豊岡駅前通り線 バイパス整備	高崎市上豊岡町ほか	

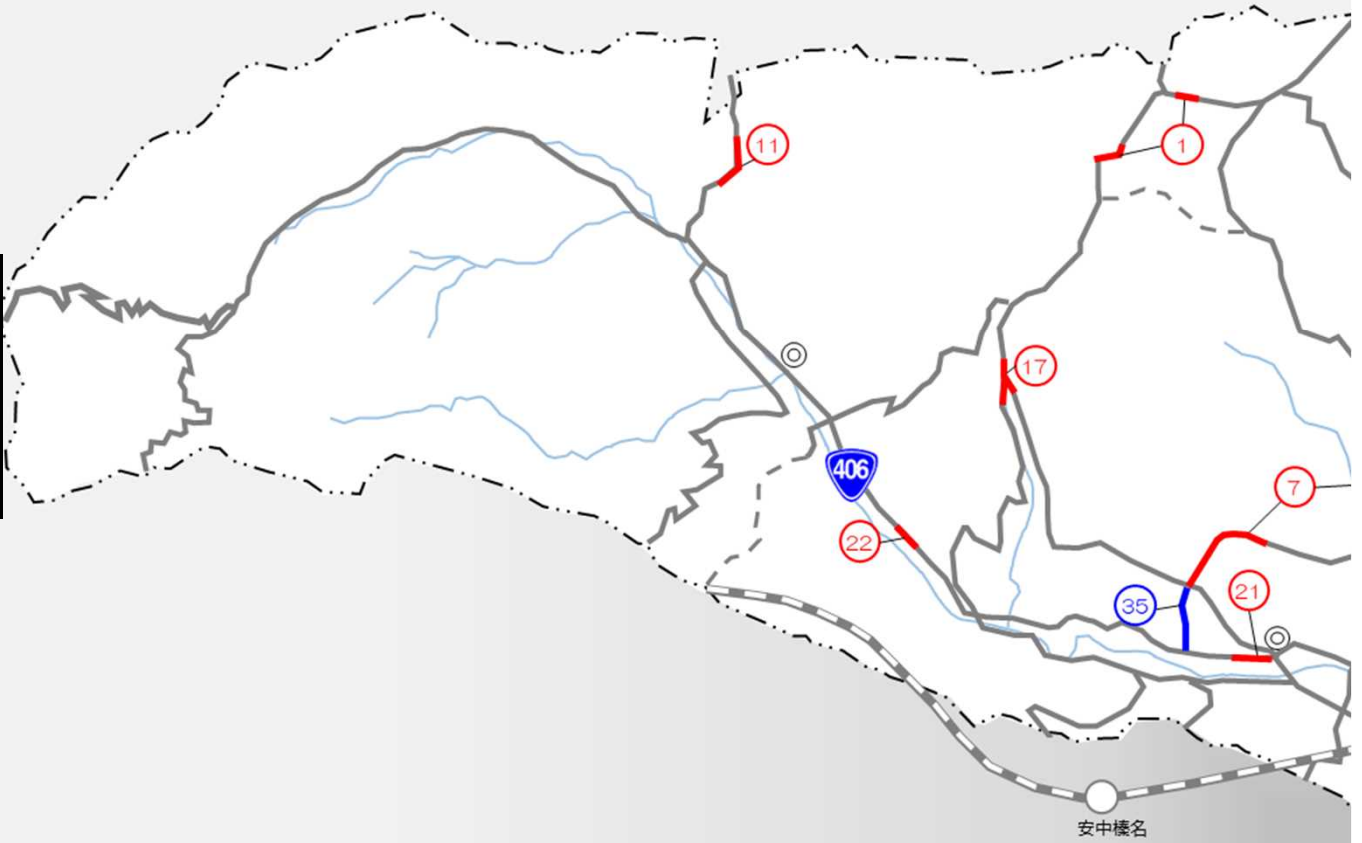
7. 継続事業（国直轄事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	45	国道17号 高松立体 立体交差化	高崎市宮元町～並榎町		120
		46	国道17号 本庄道路	埼玉県本庄市沼和田～群馬県高崎市新町		362
		47	国道18号 高崎安中拡幅	高崎市上豊岡町～安中市安中四丁目		422

主要事業箇所図（高崎地域）

第2部 地域計画編



凡例

【事業分野区分】

- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

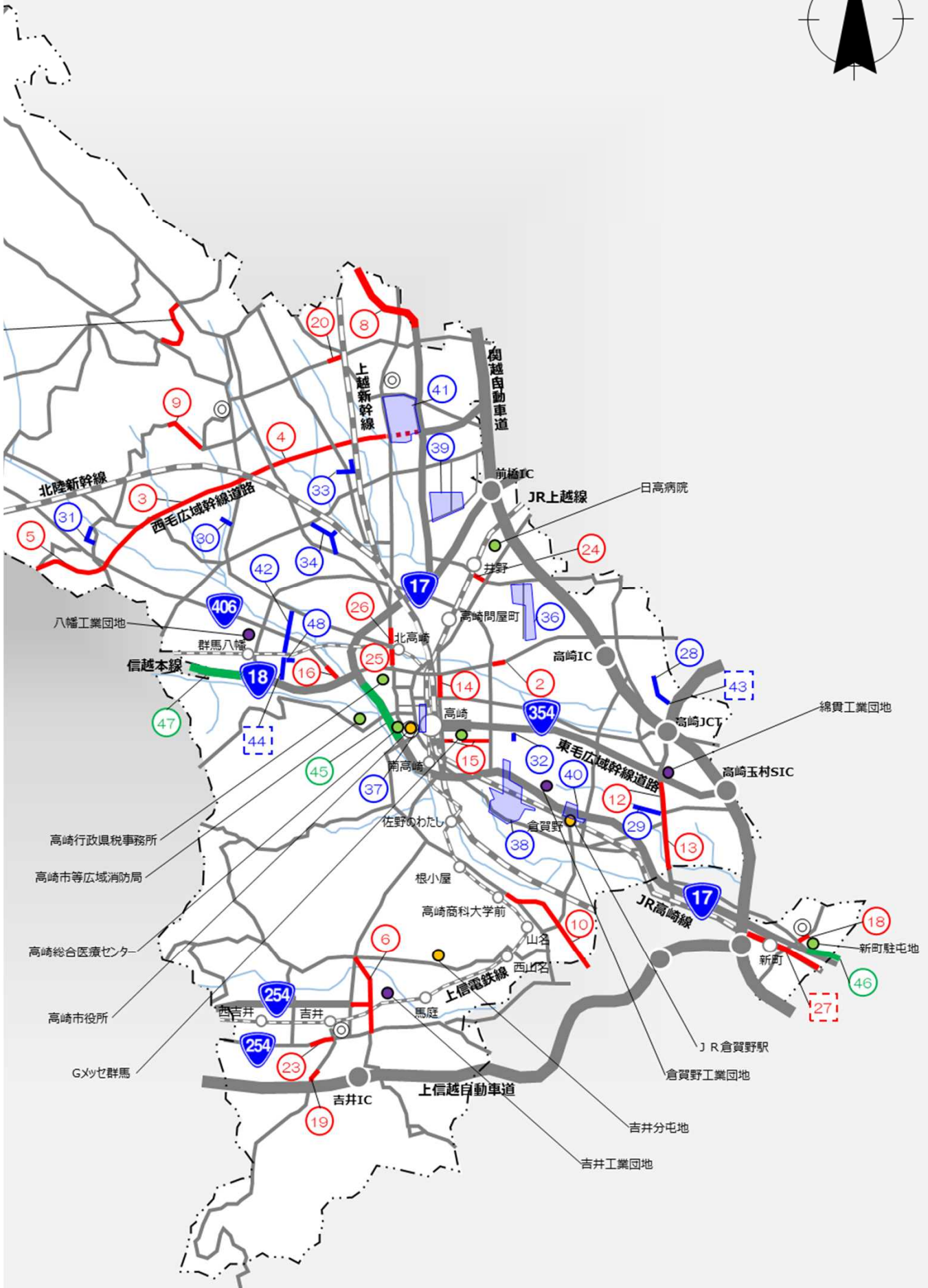
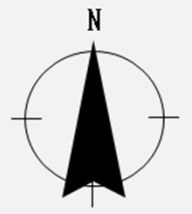
- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



5km



安中地域



安中地域は赤城・榛名・妙義の上毛三山を一望できる風光明媚な田園都市であり、かつては中山道の宿場、関所が置かれるなど交通の要衝でした。

現在も、新幹線駅や高速道路ICなどの高速交通網を有する交通・輸送の要衝として栄えています。また、磯部温泉や秋間梅林などの観光資源や碓氷関所跡・碓氷峠鉄道施設などの史跡等にも恵まれた地域です。

地域の優れた特性

- 旧中山道や日本最大の煉瓦造アーチ橋「めがね橋」を有する碓氷峠鉄道施設など交通の要衝であった地域を象徴する歴史的な観光資源を活用した地域振興が盛んな地域です。
- 紅葉で名高い妙義山や碓氷川沿いに開けた磯部温泉のほか、秋間梅林などの観光資源が多数存在しています。

地域の現状と課題

- 豪雨時や地震時等でも、道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 物流の効率化による企業誘致の推進や地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 軽井沢や富岡製糸場、伊香保温泉などの広域的な観光地との周遊性の向上を図るための取組が求められています。
- 学校周辺や市街地等を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 道路の幅員が狭い区間や歩道未整備区間の道路整備を進めてほしい。
- 観光集客効果の向上につなげるための取組を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道18号の落石対策や西毛広域幹線道路の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 広域的な観光地の周遊性の向上を図るため、県道恵宝沢原貝戸線のバイパス整備等を推進します。
- ② 学校周辺や市街地等を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道長久保郷原線の歩道整備や県道一本木平小井戸安中線の電線共同溝の整備等を推進します。

主要事業一覧（安中地域）

1. 継続事業（県事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道18号(旧道) 落石対策	安中市松井田町坂本	R6	6
		2	県道渋川松井田線 落石対策	安中市松井田町上増田	R3	1
		3	西毛広域幹線道路(安中工区) バイパス整備	安中市下秋間～安中	R2	84
		4	西毛広域幹線道路(高崎安中工区) バイパス整備	高崎市下里見町～安中市下秋間	R11	103
		5	西毛広域幹線道路(安中富岡工区(街路区間含む)) バイパス整備	安中市安中～富岡市上高尾	R11	137
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	観光地の周遊性の向上を図るため	6	県道恵宝沢原貝戸線(池尻工区) バイパス整備	安中市東上秋間	R5	12
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	7	県道長久保郷原線(上増田工区) 歩道整備	安中市松井田町上増田	R2	2
		8	県道長久保郷原線(松井田工区) 歩道整備	安中市松井田町国衙～小日向	R3	7
		9	県道長久保郷原線(原市工区) 歩道整備	安中市原市	R3	6
		10	県道一本木平小井戸安中線(安中工区) 電線共同溝	安中市安中	R5	4
		11	県道長久保郷原線(上増田2期工区) 歩道整備	安中市松井田町上増田	R9	3
12	県道長久保郷原線(小日向工区) 歩道整備	安中市松井田町小日向	R9	4		

第2部
地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	13	県道磯部停車場上野尻線(下磯部工区) 歩道整備	安中市下磯部	

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	14	県道前橋安中富岡線(野殿工区) 歩道整備	安中市野殿	

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携を強化するため	15	市道扇城・下秋間線 バイパス整備	安中市安中～下秋間	R4	2
		16	市道幹116号線 現道拡幅	安中市中宿	R8	3
		17	市道幹115号線 バイパス整備	安中市板鼻	R5	2

5. 令和6年度までに着手予定の事業・着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

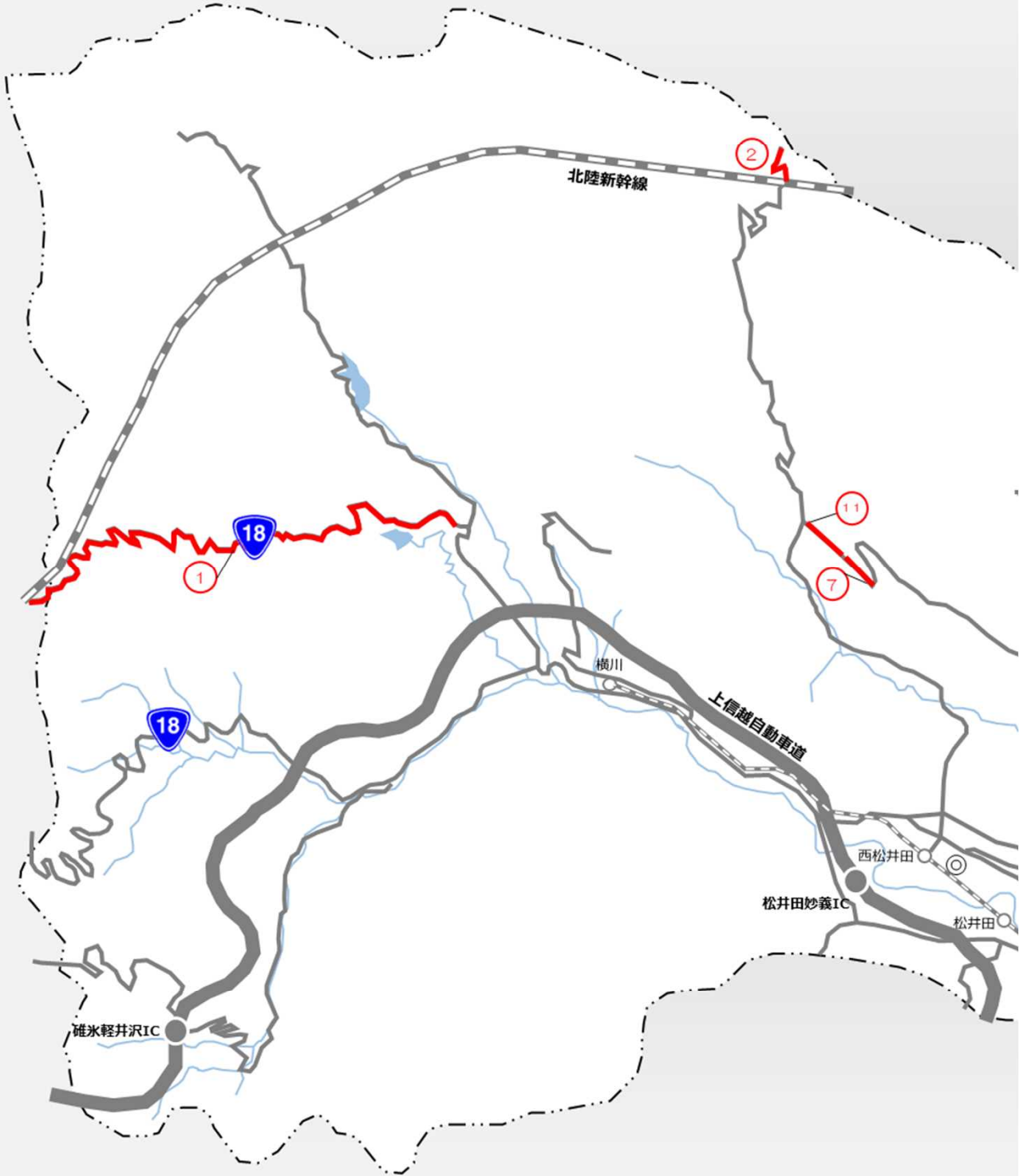
6. 継続事業（国直轄事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	18	国道18号 高崎安中拡幅	高崎市上豊岡町～安中市安中四丁目		422

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

主要事業箇所図（安中地域）



5km

凡例

【事業分野区分】

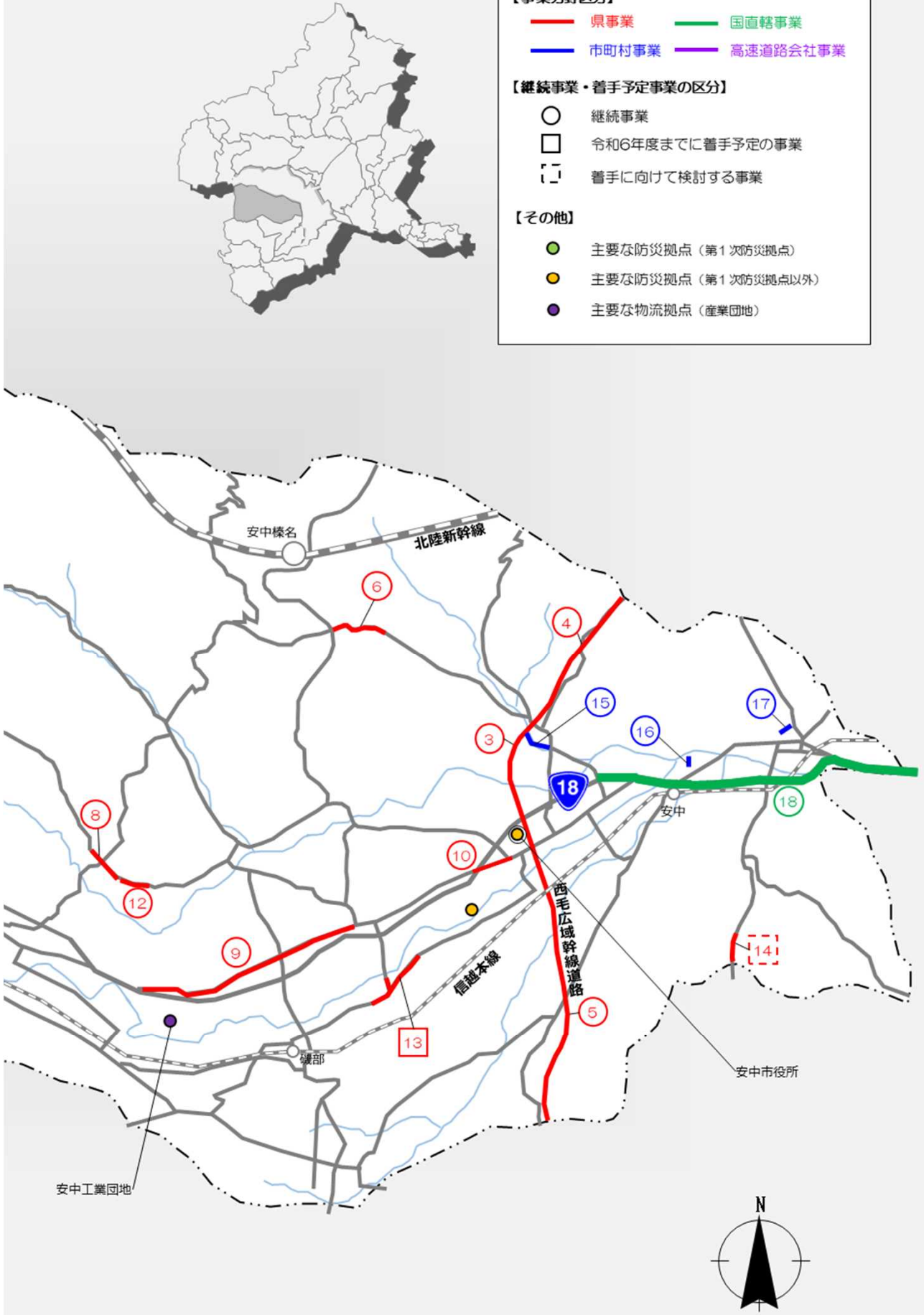
- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



多野藤岡地域

多野藤岡地域は県の南西部に位置し、藤岡市と多野郡上野村・神流町の1市1町1村で構成されています。総面積は県全体の約7.5%で、東西に約47km、南北に12kmと東西方向に細長い地形となっており、そのうち4分の1が平坦部、4分の3が山間部です。また、人口は県全体の約3.5%を占めていますが、藤岡市の平坦部に人口が集中しています。



地域の優れた特性

- 地域内の北東に位置する藤岡市の中心部は、本県の玄関口としての拠点性を活かした産業集積が進んでいます。
- 藤岡市の山間部や奥多野地域では、神流川・御荷鉾山などに代表される豊富な自然や森林資源、伝統文化等に恵まれた地域特性を活かした観光や地域活性化のための取組が進められています。

地域の現状と課題

- 山間地を多く抱えていることから、土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 奥多野地域を中心に、緊急輸送道路※における落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 隣接県を含む地域の交流促進や地域活性化に資する、都市間や地域間交流を促進するための取組が求められています。
- 高速道路網へのアクセスが悪い地域が多く、物流の効率化や地域間連携を強化するための取組が求められています。



県民の声

- 自然災害の備えに対し重要と考える住民は多いが、満足度は低い。
- 災害時においては、県や市町村の連絡調整を密にし、迅速な復旧活動に重点的に取り組む必要がある。
- 幹線道路を整備しても、生活に密着した道路網の利便性が向上しないと、そのメリットが生きてこない。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道462号の落石対策や県道藤岡本庄線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化や地域間連携を強化するため、県道前橋長瀬線（神田工区）のバイパス整備等を推進します。
- ② 都市間や地域間交流を促進するため、県道寺尾藤岡線のバイパス整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道藤岡大胡線の歩道整備等を推進します。

※ 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（多野藤岡地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道299号 落石対策	上野村勝山・乙母	R4	3
		2	国道462号(柏木工区) 落石対策	神流町柏木	R4	1
		3	国道462号(生利工区) 落石対策	神流町生利	R4	2
		4	国道462号(藤岡工区) 落石対策	藤岡市坂原・保美濃山	R4	1
		5	国道462号(魚尾工区) 落石対策	神流町魚尾	R4	1
		6	県道藤岡本庄線(藤岡工区) 電線共同溝	藤岡市藤岡	R5	5
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	生活に密着した道路網の利便性の向上のため	7	町道麻生小平線 現道拡幅(代行)	神流町森戸	R4	4
		8	県道前橋長瀬線(神田工区) バイパス整備	藤岡市矢場～神田	R6	20
	都市間や地域間交流を促進するため	9	県道下栗須馬庭停車場線(下栗須工区) 現道拡幅	藤岡市下栗須～中栗須	R5	8
		10	国道299号(古鉄橋上流工区) バイパス整備	神流町神ヶ原	R5	12
		11	県道寺尾藤岡線(山名工区) バイパス整備	高崎市根小屋町～藤岡市篠塚	R6	70
		12	県道下仁田上野線(上野工区) 現道拡幅	上野村檜原	R7	6
		13	県道上日野藤岡線(黒石工区) バイパス整備	藤岡市下日野	R9	7
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	14	県道下日野神田線(神田工区) 歩道整備	藤岡市神田	R2	1
		15	県道藤岡大胡線(本郷工区) 歩道整備	藤岡市本郷	R3	3
		16	県道上日野藤岡線(上日野工区) 歩道整備	藤岡市上日野	R3	1
		17	県道前橋長瀬線(浄法寺工区) 歩道整備	藤岡市浄法寺	R5	10
		18	県道前橋長瀬線(中神田工区) 歩道整備	藤岡市神田	R9	4

主要事業一覧（多野藤岡地域）

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	都市間や地域間交流を促進するため	19	県道前橋長瀬線(柳瀬橋工区) 現道拡幅	藤岡市中島	
		20	県道寺尾藤岡線(篠塚工区) バイパス整備	藤岡市篠塚	
	地域間連携を強化するため	21	(都) 新町駅南通り線 道路新設	藤岡市岡之郷	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	22	県道寺尾藤岡線(藤岡工区) 歩道整備	藤岡市藤岡	
		23	県道藤岡大胡線(岡之郷工区) 歩道整備	藤岡市岡之郷	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	都市間や地域間交流を促進するため	24	(都) 藤岡インターチェンジ北口線道路新設	藤岡市岡之郷	R6	15
		25	(都) 北部環状線 道路新設	藤岡市上栗須～中栗須	R4	18
		33	市道2267号 現道拡幅	藤岡市立石	R11	5
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	26	市道4732号 交差点改良	藤岡市中栗須	R4	2
		27	市道118号 歩道整備	藤岡市上戸塚、下戸塚	R5	9
		28	市道4290号 歩道整備	藤岡市岡之郷	R5	2
		29	市道4583号 歩道設置	藤岡市藤岡(緑町)	R5	2
		32	市道124号 歩道設置	藤岡市神田ほか	R11	8
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	30	北藤岡駅周辺土地区画整理	藤岡市立石	R12	71

第2部
地域計画編

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	31	市道111号 歩道整備	藤岡市中栗須	
	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	34	市道2272号 歩道整備	藤岡市岡之郷	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	34	市道2272号 歩道整備	藤岡市岡之郷	

主要事業箇所図（多野藤岡地域）

凡例

【事業分野区分】

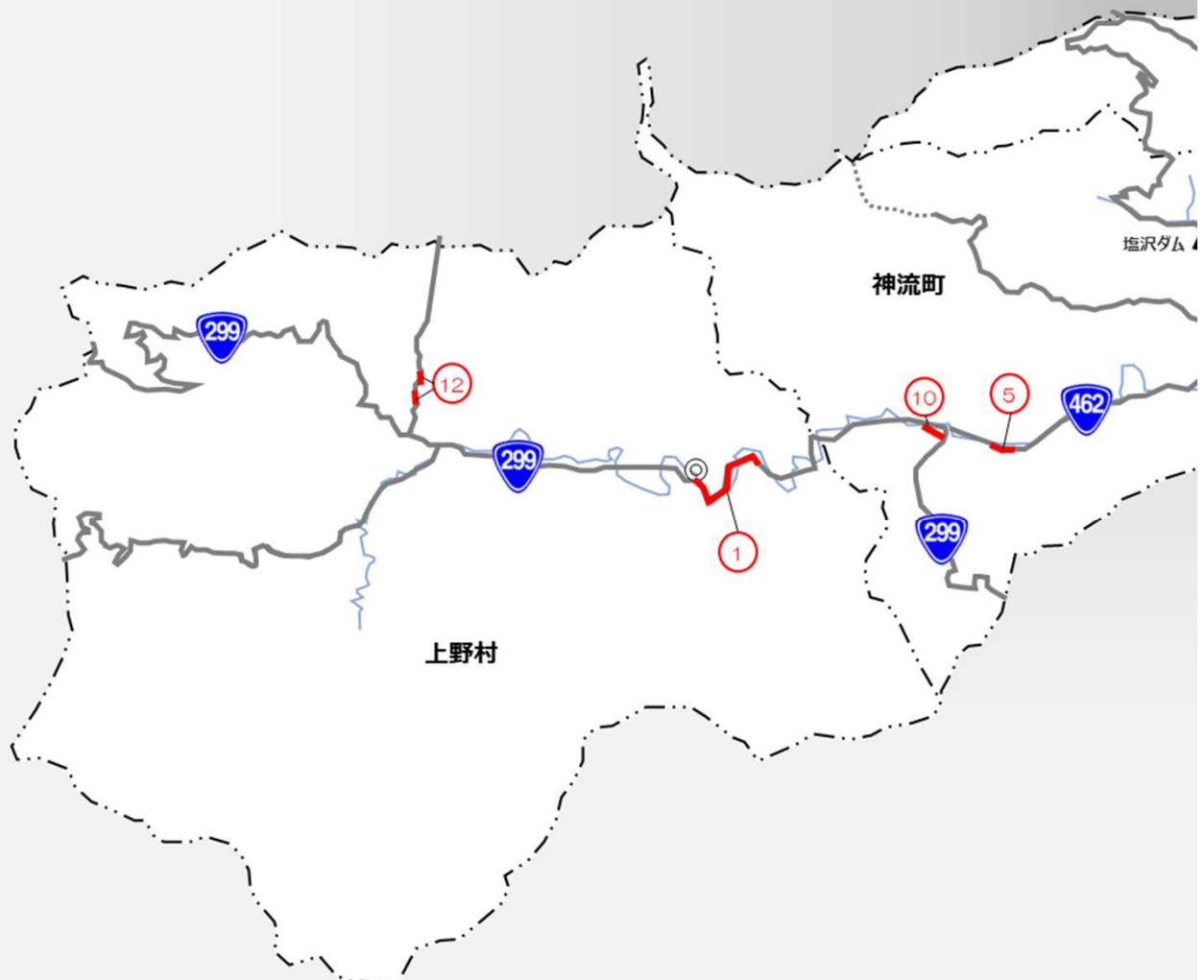
- 県事業 — 国直轄事業
- 市町村事業 — 高速道路会社事業

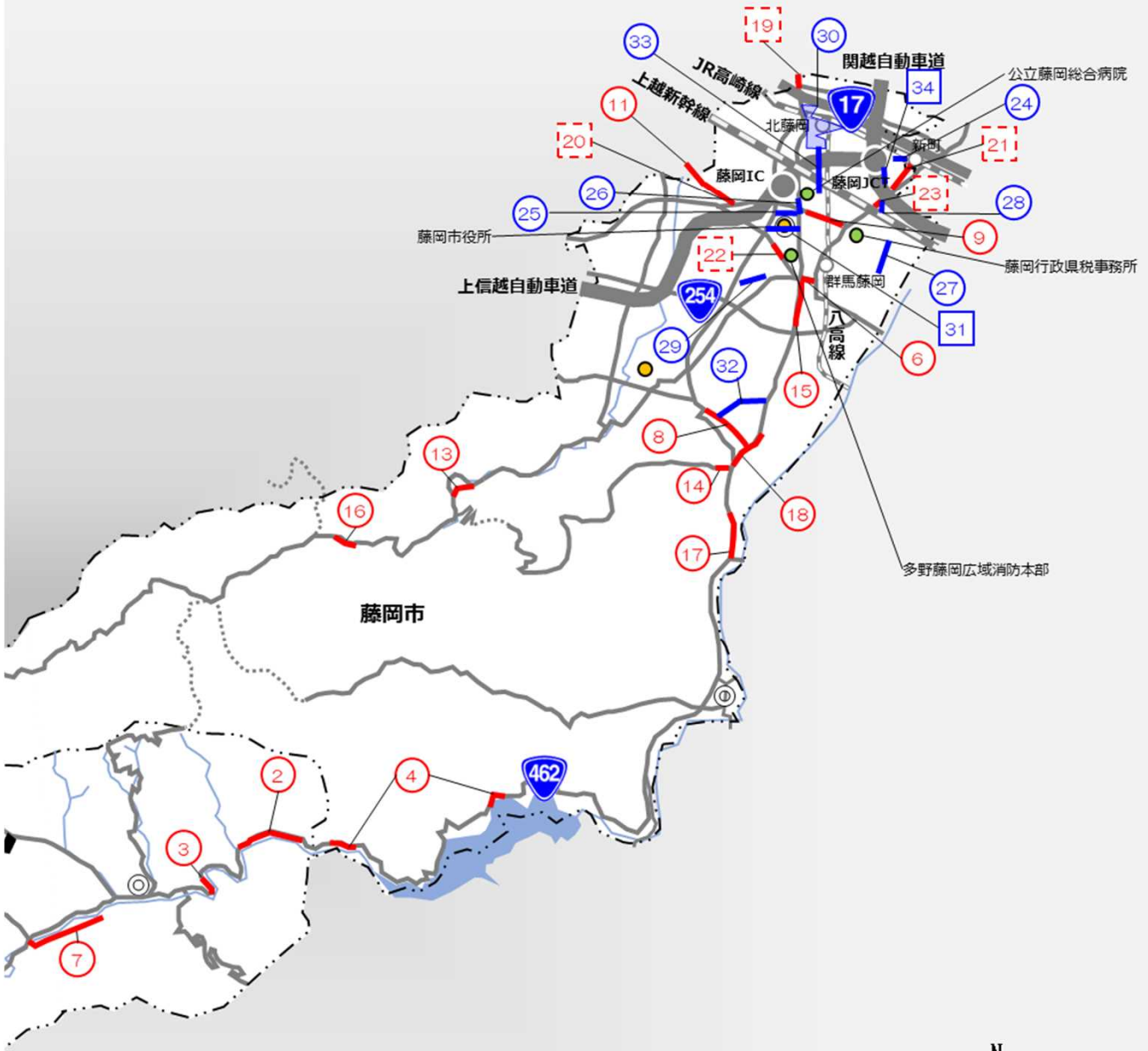
【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）





5km

甘楽富岡地域

甘楽富岡地域は、県の南西部、鍬川の流域に位置しています。富岡市及び甘楽郡下仁田町、南牧村、甘楽町の1市2町1村からなり、面積は県全体の約7.7%、人口は約3.7%を占めています。都市部は、富岡製糸場の世界遺産登録によりにぎわいを見せていますが、山間部では過疎化、少子化、高齢化が著しい状況です。



地域の優れた特性

- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である富岡市の富岡製糸場（国宝）と下仁田町の荒船風穴や、甘楽町の日本遺産※「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の旧小幡製糸シンガ造り倉庫などのぐんま絹遺産※など、歴史遺産や文化財に恵まれています。
- 下仁田町ジオパーク※は日本ジオパークに認定されています。

地域の現状と課題

- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 緊急輸送道路※における落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 地域内はもとより、安中・磯部地域など周辺地域との周遊性の向上を図るための取組が求められています。
- 前橋、高崎、安中などの周辺地域や隣接する長野県との連携を強化し、交流促進を図るための取組が求められています。
- 東京から100km圏に位置し、充実した高速道路網等を有する地域の特徴を背景に、上信越自動車道（仮称）甘楽PAスマートIC※等を活用した、新たな企業誘致の促進を図るための取組が求められています。
- 国道254号の渋滞対策をはじめ、市街地等における円滑な交通を確保するための取組が求められています。
- 富岡製糸場を訪れる多くの見学者の地域内における周遊を促す、魅力的なまち並みの形成を図るための取組が求められています。



県民の声

- 幅員が狭小で防災対策が未整備な道路の防災対策を進めてほしい。
- 道路ネットワークの整備による周辺地域との連携強化が必要である。
- 国道254号バイパス等、高崎、藤岡など周辺地域につながる広域的な幹線道路の整備が必要である。
- 国道254号を中心に交通渋滞が発生しているため、渋滞対策を進めてほしい。
- （仮称）甘楽PAスマートICへのアクセス道路の整備が必要。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道下仁田臼田線の落石対策や西毛広域幹線道路の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 周辺地域との周遊性の向上を図るため、県道宇田磯部停車場線のバイパス整備等を推進します。
- ② 周辺地域との連携を強化し交流促進を図るため、県道下仁田上野線の現道拡幅等を推進します。
- ③ 新たな企業誘致の促進を図るため、（仮称）甘楽PAスマートICとのアクセスを向上させる県道金井小幡線の現道拡幅等を推進します。
- ④ 市街地における円滑な交通を確保するため、国道254号の交差点改良等を推進します。

政策4 住み続けられるまちづくり

- ① 魅力的なまち並みの形成を図るため、県道富岡神流線（仲町通り）の電線共同溝の整備等を推進します。

※用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（甘楽富岡地域）

1. 継続事業（県事業）その1

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成 予定	全体 事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な 道路ネットワークを構築す るため	1	県道松井田下仁田線 落石対策	下仁田町中小坂	R2	1
		2	県道下仁田上野線 落石対策	南牧村桧沢	R2	1
		3	県道下仁田臼田線(砥沢工区) 落石対策	南牧村砥沢	R4	1
		4	県道下仁田臼田線(羽沢工区) 落石対策	南牧村羽沢	R5	2
		5	国道254号(東町工区) 現道拡幅	下仁田町下仁田	R7	5
		6	西毛広域幹線道路(安中富岡工区) バイパス整備	安中市安中 ～富岡市上高尾	R11	137
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス						
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維 持させるため	7	国道254号(金井橋) 老朽橋架替	甘楽町金井	R4	4
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域内の周遊性向上のため	8	村道大上線 現道拡幅(代行)	南牧村熊倉	R9	4
	周辺地域との周遊性の向上 を図るため	9	県道宇田磯部停車場線(富岡工区) バイパス整備	富岡市妙義町下高田 ～安中市中野谷	R4	7
	周辺地域との連携を強化し 交流促進を図るため	10	県道下高尾小幡線(庭谷工区) バイパス整備	富岡市後賀 ～甘楽町白倉	R3	7
		11	県道下仁田上野線(千原2工区) 現道拡幅	南牧村小沢～千原	R6	5
		12	県道下仁田軽井沢線(和美峠工区) 現道拡幅	下仁田町西野牧	R6	5
	新たな企業誘致の促進を図 るため	13	県道金井小幡線(天引工区) 現道拡幅	甘楽町天引	R3	3
		14	県道金井高崎線(金井工区) 現道拡幅	甘楽町金井 ～高崎市吉井町片山	R6	9
	市街地における円滑な交通 を確保するため	15	国道254号(富岡交差点) 交差点改良	富岡市富岡	R5	10
16		国道254号(福島西交差点) 交差点改良	甘楽町福島	R5	8	

第2部
地域計画編

主要事業一覧（甘楽富岡地域）

1. 継続事業（県事業）その2

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	17	県道富岡神流線(小幡第二工区) 歩道整備	甘楽町小幡	R2	4
		18	県道前橋安中富岡線(下高尾工区) 歩道整備	富岡市下高尾	R2	1
		19	県道下仁田安中倉渕線(丹生工区) 歩道整備	富岡市上丹生	R4	6
		20	県道前橋安中富岡線(別保工区) 歩道整備	富岡市別保	R5	2
		23	県道富岡神流線(善慶寺工区) 歩道整備	甘楽町善慶寺	R10	6
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	魅力的なまち並みの形成を図るため	21	県道富岡神流線(仲町通り) 電線共同溝	富岡市富岡	R5	4
		22	県道富岡神流線(宮本町通り) 電線共同溝	富岡市富岡	R5	1

第2部 地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
【政策4】住み続けられるまちづくり					
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	魅力的なまち並みの形成を図るため	24	県道富岡神流線(小幡工区) 電線共同溝	甘楽町小幡	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	新たな企業誘致の促進を図るため	25	町道下原、西谷線 (仮称)甘楽PA スマート ICアクセス道路整備	甘楽町白倉・天引	R4	10
	周辺地域との連携を強化し 交流促進を図るため	26	市道5476号線外2線 バイパス 整備	富岡市一ノ宮	R6	2
		27	町道4333号線(目明石) 現道拡幅	下仁田町南野牧	R2	1
施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通 行を確保するため	28	町道天王・下平線 道路・歩道整備	甘楽町小川・白倉	R5	3
		29	町道吉田屋敷、菜園線 道路・歩道整備	甘楽町小幡	R2	1
		30	市道4421号線(南蛇井工区) 歩道再整備	富岡市南蛇井	R3	1

5. 令和6年度までに着手予定の事業・着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

6. 継続事業（高速道路会社事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	新たな企業誘致の促進を図るため	31	上信越自動車道(甘楽PA) スマートIC整備	甘楽町白倉、天引	R4完了

主要事業箇所図（甘楽富岡地域）

凡 例

【事業分野区分】

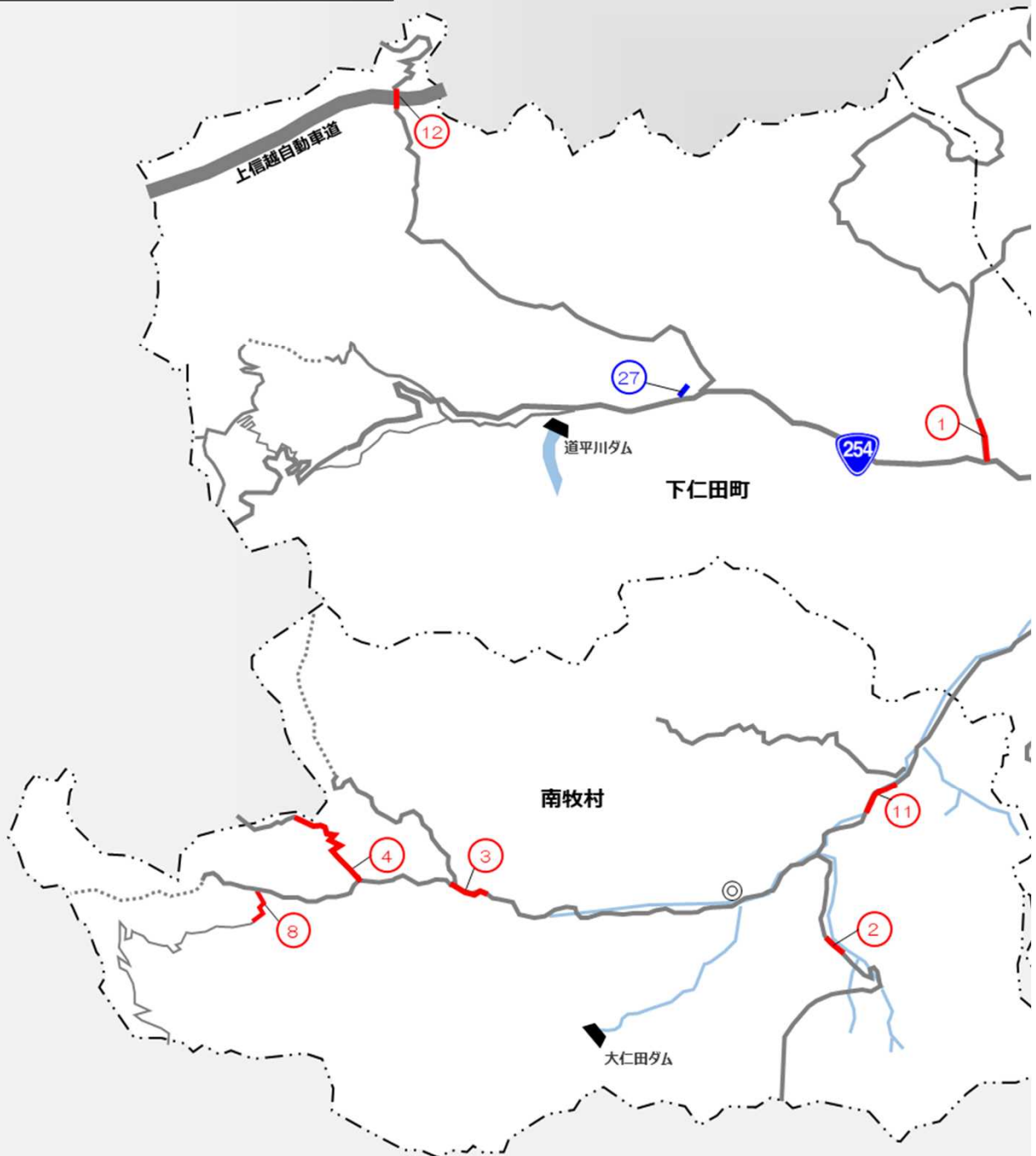
- 県事業 — 国直轄事業
- 市町村事業 — 高速道路会社事業

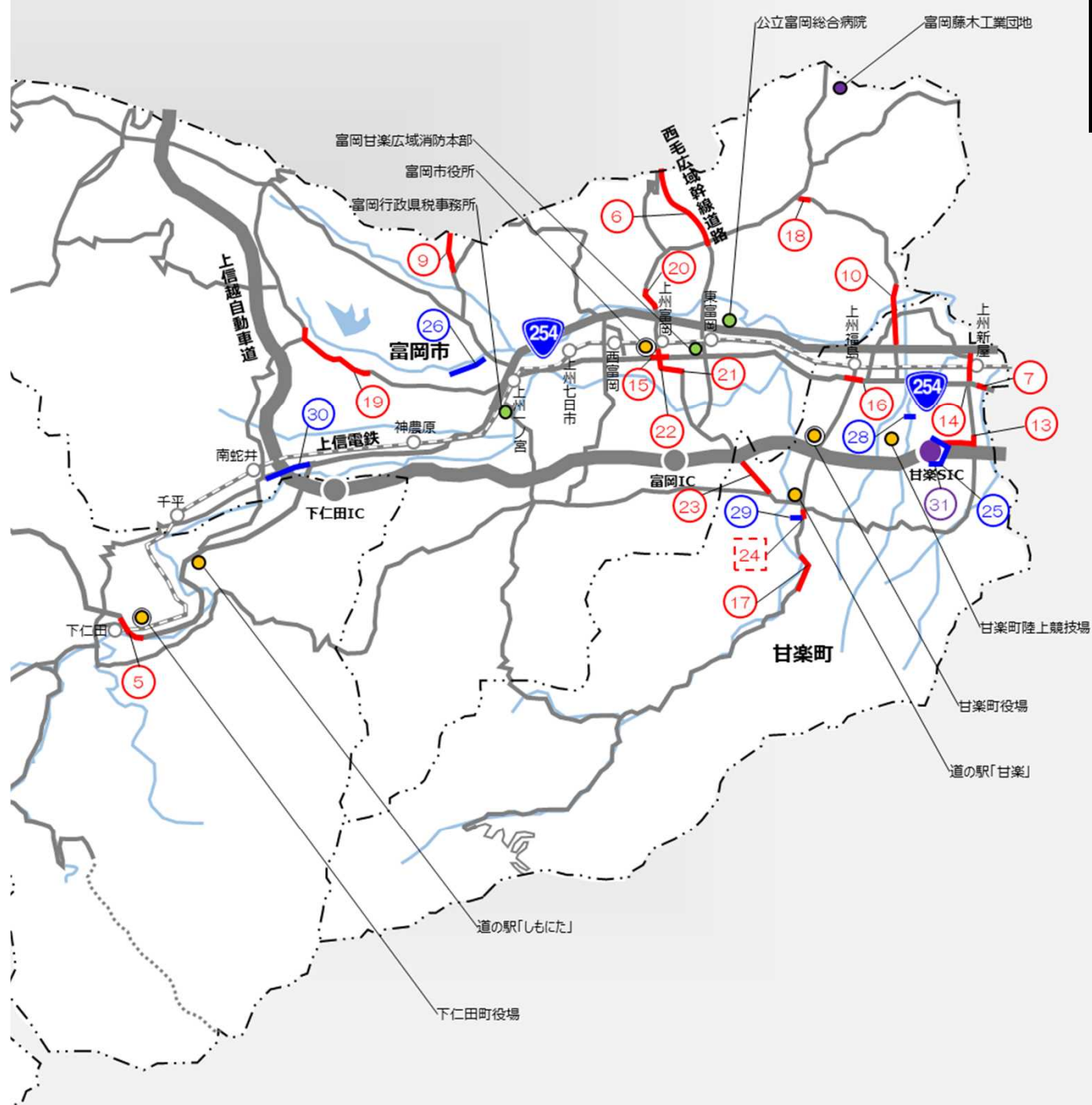
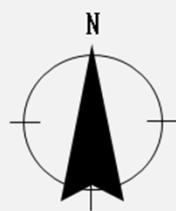
【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）





5km

吾妻地域

吾妻地域は、県北西部の山間地に位置し、面積は県全体の約20%を占めていますが、人口は県全体の約3%で、近年は人口減少と少子高齢化が急速に進んでいます。一方で豊かな自然や温泉などの観光資源に恵まれ、伝統や文化、住民の絆が大切に受け継がれており、県内外から多くの人々が訪れる魅力的な地域です。



地域の優れた特性

- 上信越高原国立公園、ラムサール条約*登録「芳ヶ平湿地群」などの美しい自然景観や、自然湧出量日本一の草津温泉や四万温泉、万座温泉をはじめとした多くの名湯、日本ジオパーク*に認定された「浅間山北麓ジオパーク」などがある県内屈指の観光資源王国です。
- 生産量日本一の「夏秋キャベツ」をはじめ、標高差や気候条件を活かした高原野菜などの栽培や酪農、養豚、養鶏などの畜産が盛んで、新鮮な農畜産物の一大産地となっています。

地域の現状と課題

- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 緊急輸送道路*の落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 県央部や首都圏から遠い立地条件と、高速交通網へのアクセス性の低さを克服し、地域の発展と住民の利便性向上を図る取組が必要です。
- 草津温泉や四万温泉などの、県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るための取組が求められています。
- 通学路を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 避難経路の確保や消防活動が困難な区域の解消、災害弱者の避難対策の充実、土砂災害などの被害防止施設の整備が必要である。
- 通学路だが、歩道がない区間の歩道整備をお願いしたい。
- 草津温泉街周辺の観光シーズンの渋滞緩和のための道路整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道292号の落石対策や国道145号の電線共同溝、上信自動車道の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の発展と住民の利便性向上を図るため、国道144号の線形改良等を推進します。
- ② 県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るため、国道146号の現道拡幅や国道292号の登坂車線整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、国道292号の歩道整備等を推進します。
- ④ 物流の効率化や観光振興への効果を検証し、上信自動車道の県境区間については、長野県と連携して整備の検討を行います。

※ 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（吾妻地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道144号 落石対策	嬭恋村今井	R2	2
		2	国道145号 落石対策	東吾妻町郷原	R2	1
		3	県道草津嬭恋線(前口工区) 落石対策	草津町前口	R4	1
		4	県道草津嬭恋線(今井工区) 落石対策	嬭恋村今井	R3	1
		5	国道292号(草津工区) 落石対策	草津町草津	R6	4
		6	国道292号(嬭恋工区) 落石対策	嬭恋村干俣	R4	1
		7	県道中之条草津線 落石対策	中之条町上沢渡	R9	1
		8	国道145号(原町工区) 電線共同溝	東吾妻町原町	R5	7
		9	上信自動車道(吾妻西バイパス) バイパス整備	東吾妻町厚田～松谷	R5	169
		10	上信自動車道(吾妻東バイパス) バイパス整備	東吾妻町植栗～厚田	R8	155
		11	県道植栗伊勢線 現道拡幅	東吾妻町植栗～中之条町伊勢町	R8	45
		12	上信自動車道(吾妻東バイパス2期) バイパス整備	東吾妻町箱島～植栗	R9	180
24	国道145号(高山工区) 落石対策	高山村中山	R4	1		
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上を図るため	13	上信自動車道(長野原嬭恋バイパス) バイパス整備	長野原町与喜屋～嬭恋村鎌原	R11	220
		14	県道渋川東吾妻線(槻木交差点) 交差点改良	東吾妻町原町	R4	2
		15	県道川原畑大戸線(大柏木川原湯トンネル) トンネル整備	長野原町川原湯～東吾妻町大柏木	R2	42
		16	県道高崎東吾妻線(浄永橋工区) 現道拡幅	東吾妻町厚田	R3	4
		17	国道144号(大前工区) 線形改良	嬭恋村大前	R5	8
		18	国道406号(大戸工区) 現道拡幅	東吾妻町大戸	R10	5
		19	県道大笹北軽井沢線(鎌原工区) 現道拡幅	嬭恋村鎌原	R6	4
		20	国道146号(古森3期工区) 現道拡幅(浜岩橋含む)	長野原町羽根尾～古森	R7	8
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	21	国道292号(洞口工区) 登坂車線	長野原町大津	R9	9
		22	国道144号(西窪工区) 歩道整備	嬭恋村西窪	R2	2
		23	国道292号(大津工区) 歩道整備	長野原町大津	R3	2
		28	国道353号(伊勢町工区) 歩道整備	中之条町伊勢町	R8	2

第2部
地域計画編

主要事業一覧（吾妻地域）

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上を図るため	25	上信自動車道 ((仮称) 嬭恋バイパス) バイパス整備	嬭恋村鎌原～田代	
		26	国道406号(萩生2期工区) バイパス整備	東吾妻町萩生	
	観光地アクセスの強化を図るため	27	県道中之条草津線(湯原工区) バイパス整備	中之条町上沢渡	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	29	国道292号(草津工区) 歩道整備	草津町草津	

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	30	村道大横川北山線 落石対策	嬭恋村大笹	R6	3
		31	村道三原鎌原線 防災対策	嬭恋村鎌原	R5	2
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上のため	32	村道鳥居峠車坂線 現道拡幅	嬭恋村鎌原	R9	15
		33	村道大前細原線 大前橋架替	嬭恋村大前	R5	9

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

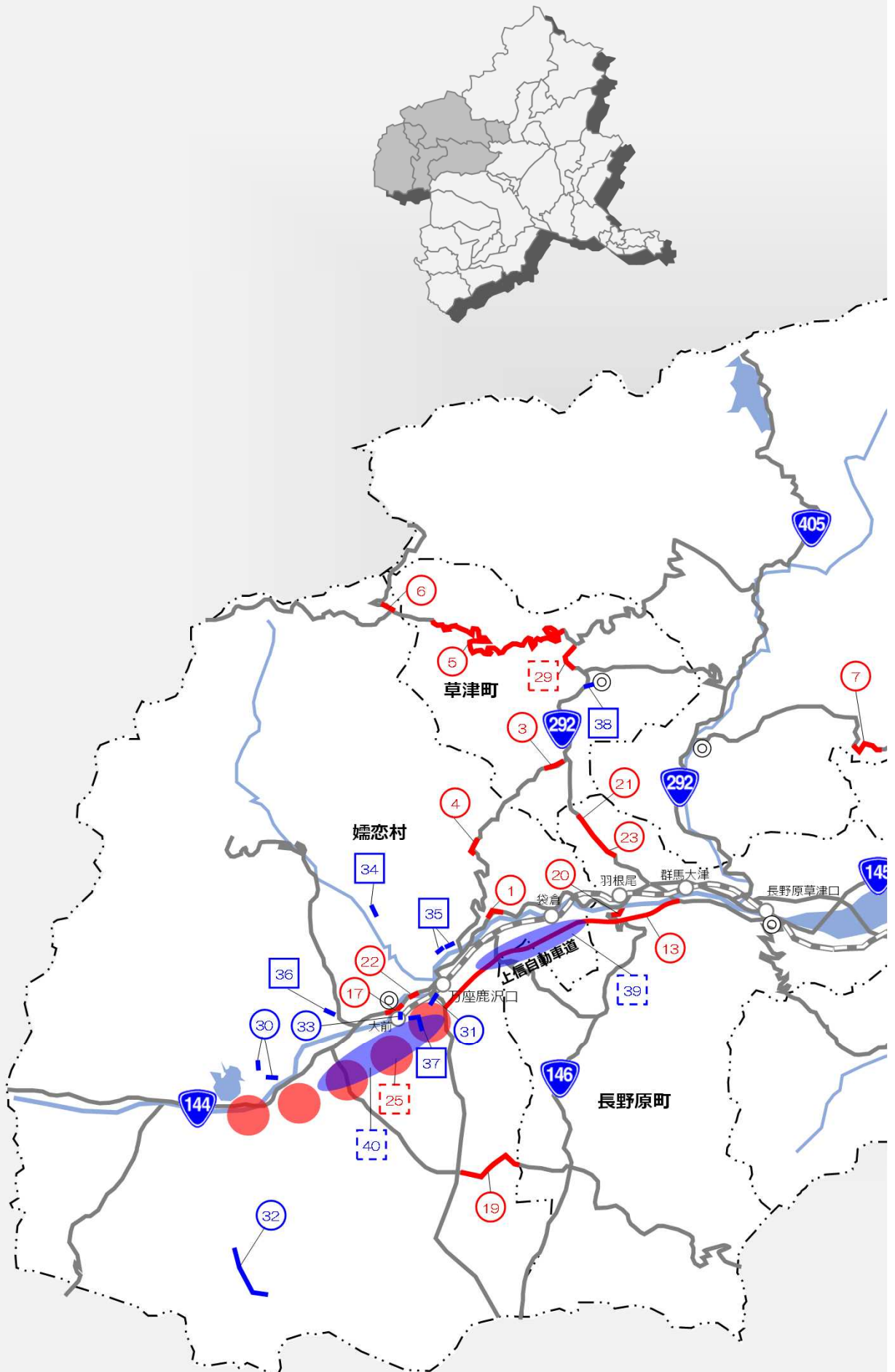
政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な 道路ネットワークを構築す ため	34	村道西窪門貝線 落石対策	嬭恋村門貝	
		35	村道三原西窪線 落石対策	嬭恋村三原	
		36	村道長井砂井線 落石対策	嬭恋村大笹	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性 向上のため	37	村道大前鎌原1号線 現道拡幅	嬭恋村大前	
		38	町道上新田泉水線 道路改築	草津町草津	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性 向上のため	39	上信自動車道 （長野原嬭恋バイパス） アクセス道路 道路新設	嬭恋村袋倉～鎌原	
		40	上信自動車道 （(仮称) 嬭恋バイパス） アクセス道路 道路新設	嬭恋村鎌原～田代	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

主要事業箇所図（吾妻地域）



凡例

【事業分野区分】

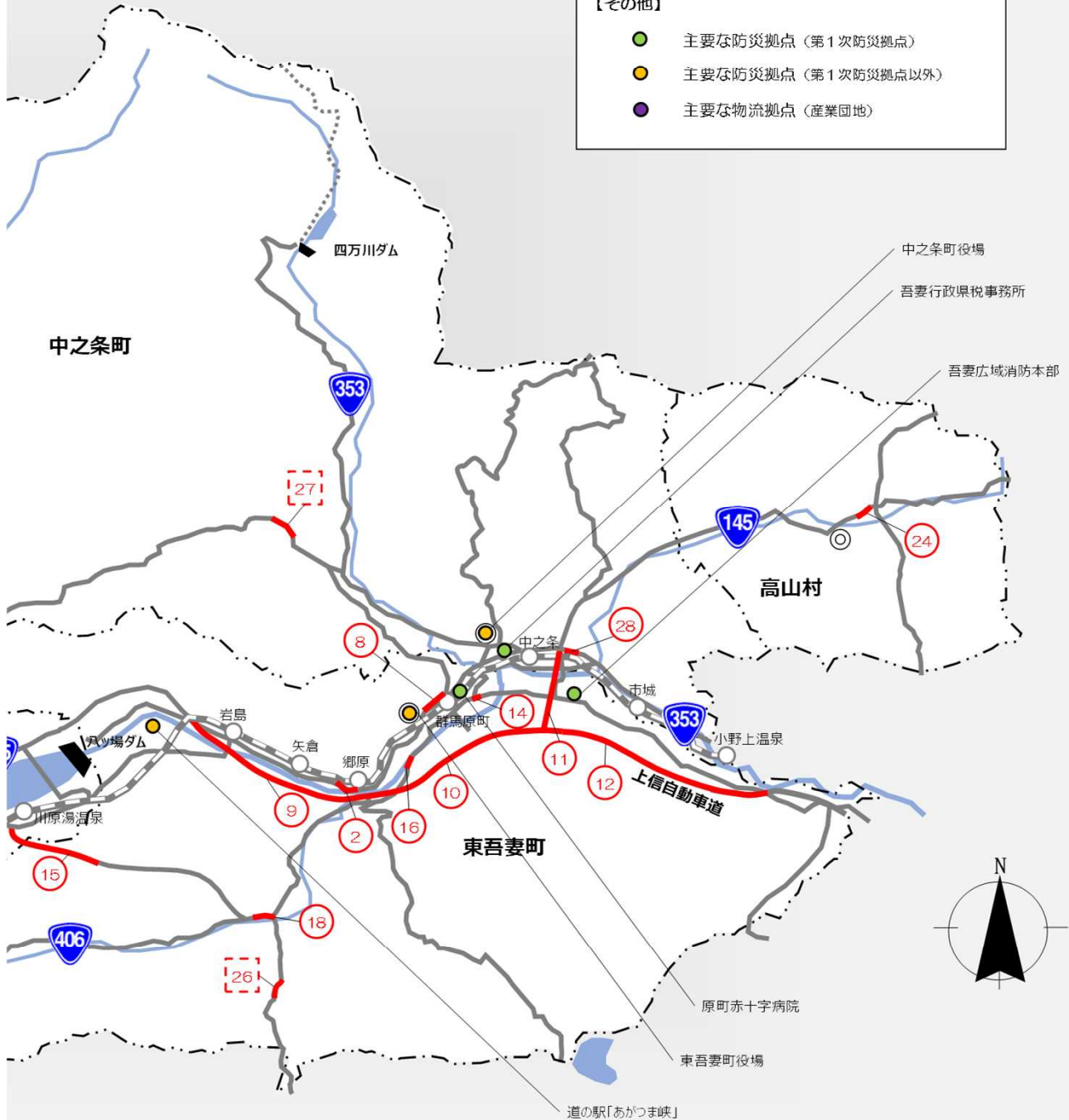
- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



10km

利根沼田地域

利根沼田地域は、尾瀬に代表される3つの国立公園や谷川岳など8つの日本百名山、利根川などの豊かな自然環境に恵まれ、高原野菜の生産や観光農業が盛んな地域です。古くから温泉地が栄え、新幹線や高速道路などの高速交通網も整備され、年間1,100万人を超える人々を迎えています。近年では、アウトドアスポーツの新しい観光スポットとしても注目されています。



地域の優れた特性

- 東京から近距離にあって、数多くの山々、清流など、魅力的な大自然や、温泉やスキー場、全国に誇れる道の駅「川場田園プラザ」など、豊富な観光資源に恵まれています。
- 特に、みなかみ町においては、平成29年6月14日にユネスコエコパーク※に登録されるなど、豊かな自然環境を活用した地域の活性化が期待されています。
- 水源地域として多くのダムにより水資源を蓄え、はぐくみ、守り、首都圏の経済・生活を支えています。

地域の現状と課題

- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 緊急輸送道路※における落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 県内で最も降雪の多い地域であることから、冬期における車両の安全な通行を確保するための取組が必要です。
- 豊富な観光資源を活かした、更なる観光振興を促進するための取組が求められています。
- 住民の利便性や観光客の周遊性の向上に資する、地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べ低いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 豪雨時に土砂災害の危険性がある箇所において、地域住民の安全・安心の確保に向けた対策をしてほしい。
- 歩道が未整備の箇所においては交通事故の危険性が高いため、歩道整備を進めてほしい。
- 道路の見通しや線形が悪く、事故の危険性が高い箇所の改善をしてほしい。
- 観光シーズンにおいて渋滞が著しい箇所の改善をしてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道120号の落石対策や県道水上片品線の雪崩対策等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 豊富な観光資源を活かした更なる観光振興を促すため、高速道路へのアクセス道路である県道昭和インター線や、県道富士山横塚線の整備による観光地への渋滞対策等を推進します。
- ② 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、国道120号の交差点改良や県道沼田赤城線の歩道整備等を推進します。

※用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（利根沼田地域）

1. 継続事業（県事業）その1

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道120号(平川工区) 落石対策	沼田市利根町平川	R2	1
		2	県道沼田大間々線 落石対策	沼田市利根町根利	R2	1
		3	国道120号(東小川工区) 落石対策	片品村東小川	R4	4
		4	国道120号(菅沼工区) 落石対策	片品村菅沼	R4	20
		5	県道平川横塚線 落石対策	川場村川場湯原	R6	2
		6	国道291号 落石対策	みなかみ町大穴	R11	3
		7	県道水上片品線(片品工区) 落石対策	片品村戸倉	R11	10
		8	県道水上片品線(みなかみ工区) 落石対策	みなかみ町藤原ほか	R11	10
		9	県道水上片品線 スノーシェッド整備	片品村戸倉	R5	8
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス						
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維持させるため	10	県道戸鹿野下之町線(戸鹿野橋) 老朽橋梁架替	沼田市屋形原町	R11	47
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	豊富な観光資源を活かした更なる観光振興を促すため	11	県道上発知材木町線(透門橋工区) 現道拡幅	沼田市上発知町	R2	3
		12	国道120号(追貝工区) 現道拡幅	沼田市利根町追貝	R5	10
		13	県道昭和インター線(森下工区) バイパス整備	昭和村森下	R7	10
		14	国道120号(下平工区) バイパス整備	片品村下平 ～沼田市利根町平川	R8	5
		15	県道富士山横塚線(横塚工区) 現道拡幅	沼田市横塚町	R11	5

第2部
地域計画編

主要事業一覧（利根沼田地域）

1. 継続事業（県事業）その2

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	16	国道120号(大原交差点)交差点改良	沼田市利根町大原	R5	4
		17	県道沼田大間々線(上久屋町第二工区) 歩道整備	沼田市上久屋町	R3	2
		18	国道120号(菅沼2工区) 歩道整備	片品村菅沼	R3	3
		19	県道沼田赤城線(貝野瀬工区) 歩道整備	昭和村貝野瀬	R5	2
		20	県道渋川下新田線(下津工区) 歩道整備	みなかみ町下津	R5	5
		21	県道昭和インター線(川額工区) 歩道整備	昭和村川額	R5	2
		22	県道平川横塚線(川場湯原工区) 歩道整備	川場村川場湯原	R9	3

第2部 地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	23	国道120号(平川交差点)交差点改良	沼田市利根町平川	
		24	県道沼田赤城線(中内出工区) 歩道整備	昭和村糸井	
		25	県道沼田大間々線(栄町工区) 歩道整備	沼田市栄町	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス						
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維持させるため	26	村道東小川・越本線 細工屋橋 老朽橋梁修繕	片品村越本	R4	3
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携の強化を図るため	27	(都)環状線(栄町工区) 現道拡幅	沼田市栄町～材木町	R6	28
		28	町道政所59号線 バイパス整備	みなかみ町政所	R4	3
		29	市道T106号線 現道拡幅	沼田市利根町大原	R3	4
		30	町道悪戸矢瀬線 バイパス整備	みなかみ町月夜野	R4	3
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	31	沼田市中心市街地土地区画整理	沼田市東倉内町外	R6	148

第2部
地域計画編

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携の強化を図るため	32	町道真政悪戸線 バイパス整備	みなかみ町後閑ほか	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域間連携の強化を図るため	33	町道後閑師1号線 現道拡幅	みなかみ町師ほか	
		34	町道政所21号線 バイパス整備	みなかみ町政所	
		35	市道高橋場通学路線 現道拡幅	沼田市高橋場町	
		36	町道羽場須川線 現道拡幅	みなかみ町羽場	

7. 継続事業（国直轄事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	37	国道17号 綾戸バイパス バイパス整備	渋川市上白井 ～沼田市岩本町		157
		38	国道17号 三国防災	みなかみ町羽場 ～新潟県湯沢町三国		273

主要事業箇所図（利根沼田地域）

凡例

【事業分野区分】

- 県事業 — 国直轄事業
- 市町村事業 — 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

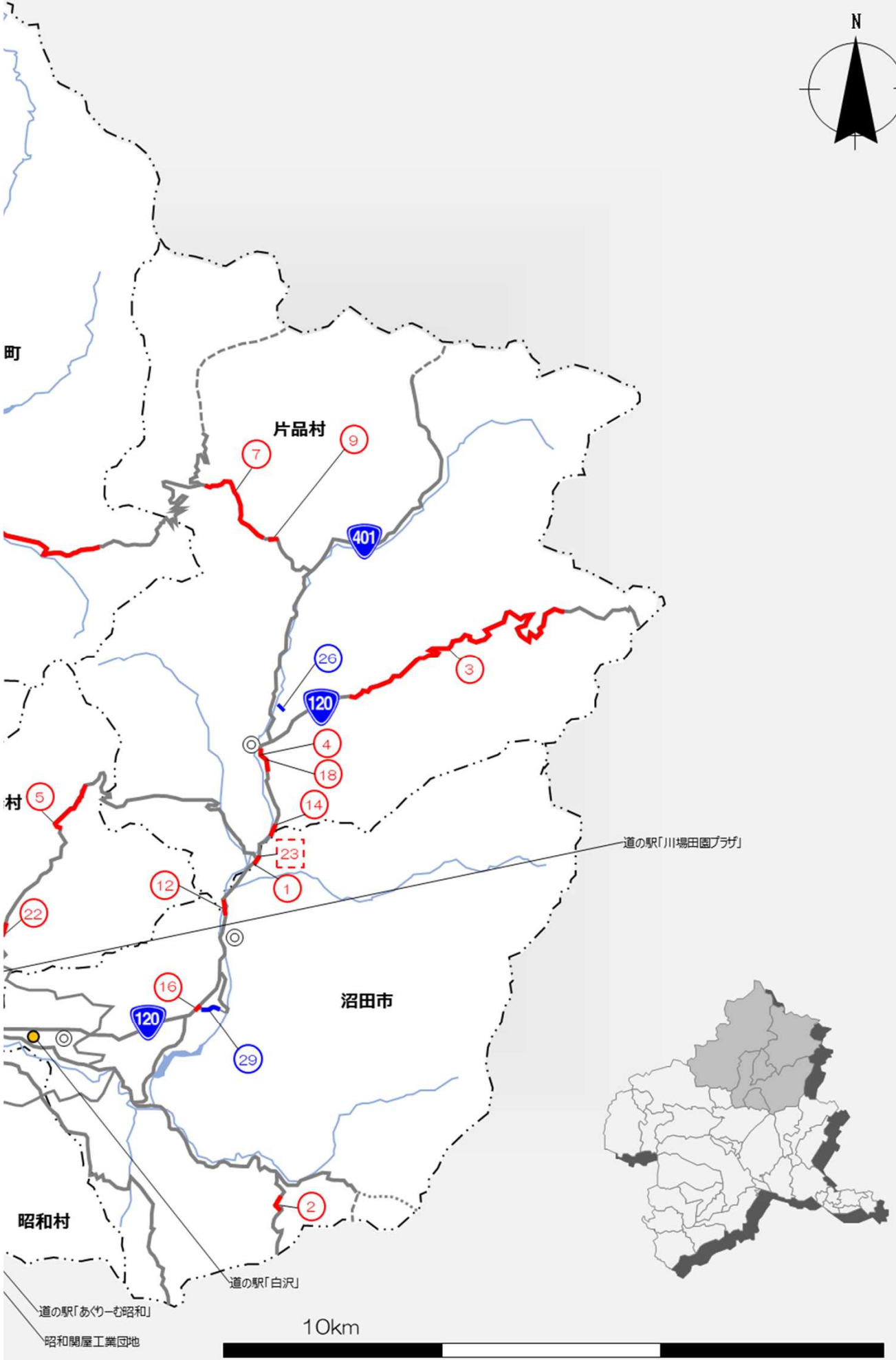
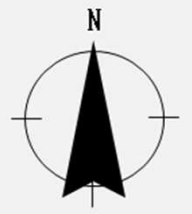
【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



- 利根沼田広域消防本部
- 沼田市役所
- 沼田病院
- 利根沼田行政具税事務所
- 利根中央病院

昭和村役場社会体育館



太田地域

太田地域は、県の南東部に位置し、南は利根川、北は渡良瀬川が流れ、市街地北部に標高239mの金山と、それに隣接する八王子丘陵が走るほかは、概ね平坦です。また、北関東自動車道が北部地域を、東毛広域幹線道路が南部地域を通過して、関越自動車道、東北自動車道と接続し、さらに東武鉄道によって東京と接続しています。



地域の優れた特性

- 県内第1位の工業出荷額を誇り、自動車産業に代表される北関東屈指の企業集積拠点です。
- 近隣県との交流・連携面では、救急・災害医療、産業振興等における広域的な取組が進められています。また、首都圏に通勤・通学することが可能な便利な地域です。
- 2020年「住みよさランキング」（東洋経済新報社）で、太田市は県内12市の中で第1位となっています。

地域の現状と課題

- 豪雨時や地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 安心して子育てができ、医療や福祉サービスが受けられるなど、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整えるための取組が求められています。
- 産業活力の更なる向上に向け、北関東自動車道を有効に活用した物流の効率化を図るための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生していることから、市街地等の円滑な交通を確保するための取組が必要です。
- 交通事故死者数が県内の他地域に比べ多く、対策すべき事故危険箇所も多く残されていることから、安全な道路・交通環境の確保が必要です。



県民の声

- 豪雨時に住宅地が冠水する箇所について、河川整備とあわせて、道路冠水対策を進めてほしい。
- 通学路なのに歩道がないため、児童が安心して通学できない箇所の歩道整備を進めてほしい。
- 太田強戸スマートIC*へのアクセスのための道路ネットワークの整備を進めてほしい。
- 地域産業の発展に伴い発生する交通渋滞への対策が必要である。
- 街路や公園の整備、良好な住環境の一層の充実が必要である。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道407号や県道前橋館林線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化を図るため、県道太田大間々線のバイパス整備等を推進します。
- ② 市街地等の円滑な交通を確保するため、県道古戸館林線の交差点改良等を推進します。
- ③ 安全な道路・交通環境を確保するため、県道足利伊勢崎線の歩道整備や県道烏山竜舞線の電線共同溝の整備等を推進します。
- ④ 市街地の渋滞緩和や物流の効率化を図るため、(都)太田西部幹線等の環状線の整備効果について検討します。

※用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（太田地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道407号(西矢島町工区) 電線共同溝	太田市西矢島町	R6	5
		2	県道前橋館林線(本町工区) 電線共同溝	太田市本町	R7	5
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	物流の効率化を図るため	3	県道太田大間々線 (新田藪塚工区) バイパス整備	太市新田小金井町 ～山之神町	R5	30
		4	県道桐生伊勢崎線 (阿左美大原工区) 現道拡幅	みどり市 笠懸町阿左美 ～太田市大原町	R6	105
		5	県道足利伊勢崎線(強戸工区) 現道拡幅	太田市上強戸町 ～吉沢町	R6	9
	市街地の円滑な交通を確保するため	6	県道大間々世良田線 (世良田交差点) 交差点改良	太田市世良田町	R5	12
		7	県道佐野太田線(東長岡交差点) 交差点改良	太田市東長岡町	R4	1
		8	県道古戸館林線(古戸交差点) 交差点改良	太田市古戸町	R5	9
		9	県道前橋館林線 (新田大根町交差点) 交差点改良	太市新田大根町	R7	7
13	国道407号(熊野町交差点) 交差点改良	太田市熊野町	R4	1		
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	安全な道路・交通環境を確保するため	10	県道足利伊勢崎線(天良町工区) 歩道整備	太田市天良町	R4	1
		11	県道新田上江田尾島線 (新田木崎町工区) 歩道整備	太市新田木崎町	R6	7
		12	県道烏山竜舞線(飯塚町第二工区) 電線共同溝	太田市飯塚町 ～下浜田町	R5	12

第2部
地域計画編

主要事業一覧（太田地域）

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	14	国道407号(追分交差点)交差点改良	太田市東金井町	
		15	県道前橋館林線(新島町工区)歩道整備	太田市新島町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	安全な道路・交通環境を確保するため	16	県道新田上江田尾島線(新田木崎2期工区)歩道整備	太田市新田赤堀町	
		17	県道大原境三ツ木線(新田大根町工区)歩道整備	太田市新田大根町	

第2部 地域計画編

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	物流の効率化を図るため	18	県道太田桐生線(太田強戸スマートICアクセス)バイパス整備	桐生市広沢町～太田市北金井町	
		19	県道太田桐生線(松風峠交差点)交差点改良	太田市東金井町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	20	県道前橋館林線(新田金井十字路交差点)交差点改良	太田市新田金井町	
		21	県道前橋館林線(新田村田町交差点)交差点改良	太田市新田村田町	
	安全な道路・交通環境を確保するため	22	県道竜舞山前停車場線(植木野町工区)歩道整備	太田市植木野町	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	28	市道太田太田西部1 1 2 5幹線ほか1路線（脇屋町工区）バイパス整備	太田市脇屋町外	R10	9
		23	市道1級20号線 電線共同溝	太田飯塚町～新島町	R5	10
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	安全な道路・交通環境を確保するため	24	市道2級62号線 歩道整備	太田市新田下江田町	R6	6
		政策4. 住み続けられるまちづくり				
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	25	宝泉南部土地区画整理	太田市中根町外	R10	52
		26	太田駅周辺土地区画整理	太田市東本町外	R12	237
		27	尾島東部土地区画整理	太田市阿久津町外	R12以降	65

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

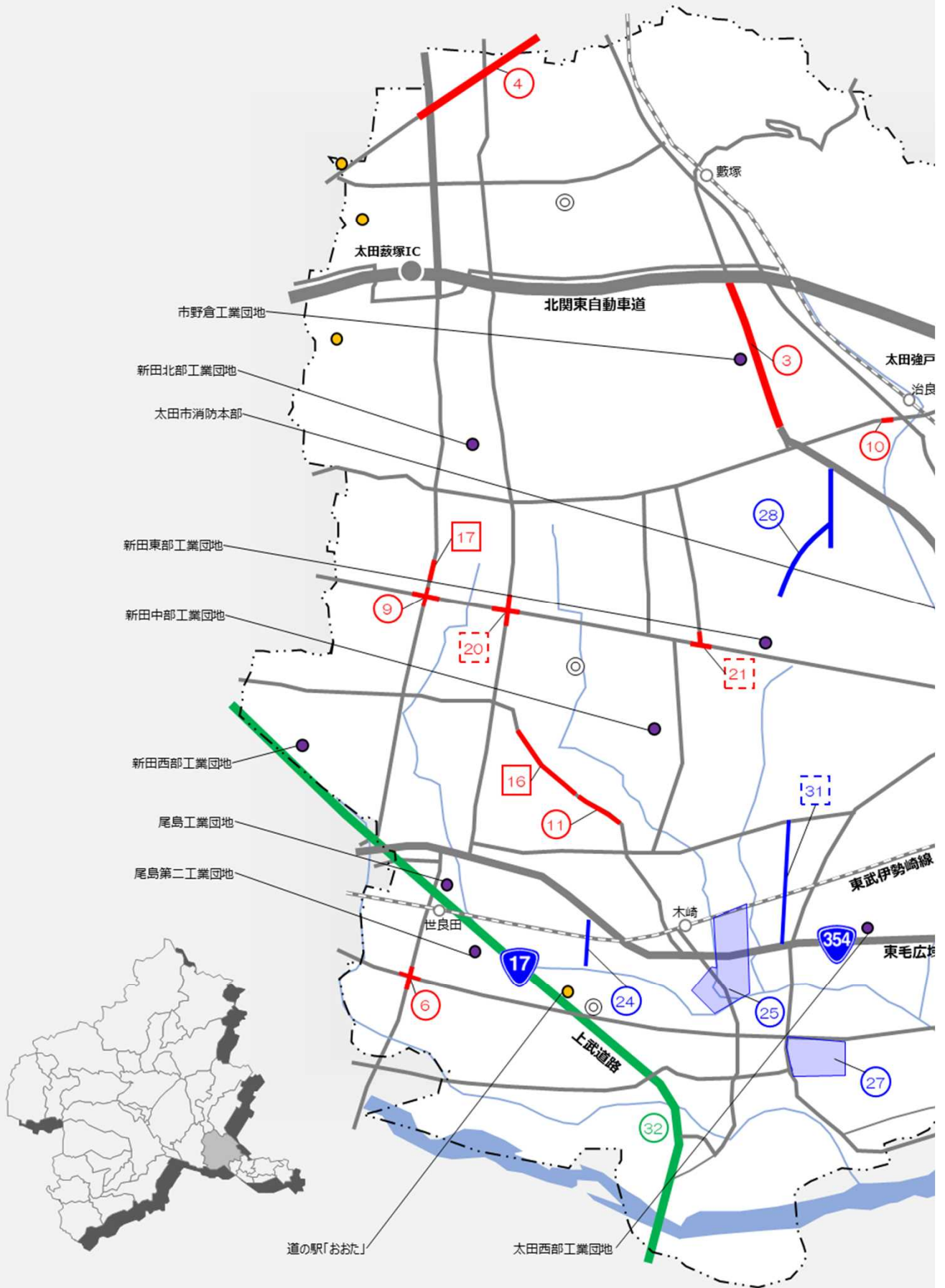
政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	29	市道2級45号線 現道拡幅	太田市下浜田町ほか	
		30	市道太田東部幹線バイパス整備	太田石原町～茂木町	
		31	市道太田西部幹線（西野谷工区）バイパス整備	太田市西谷町～中根町	

7. 継続事業（国直轄事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	32	国道17号 上武道路バイパス整備	埼玉県熊谷市西別府～前橋市田口町		1,890

主要事業箇所図（太田地域）



凡例

【事業分野区分】

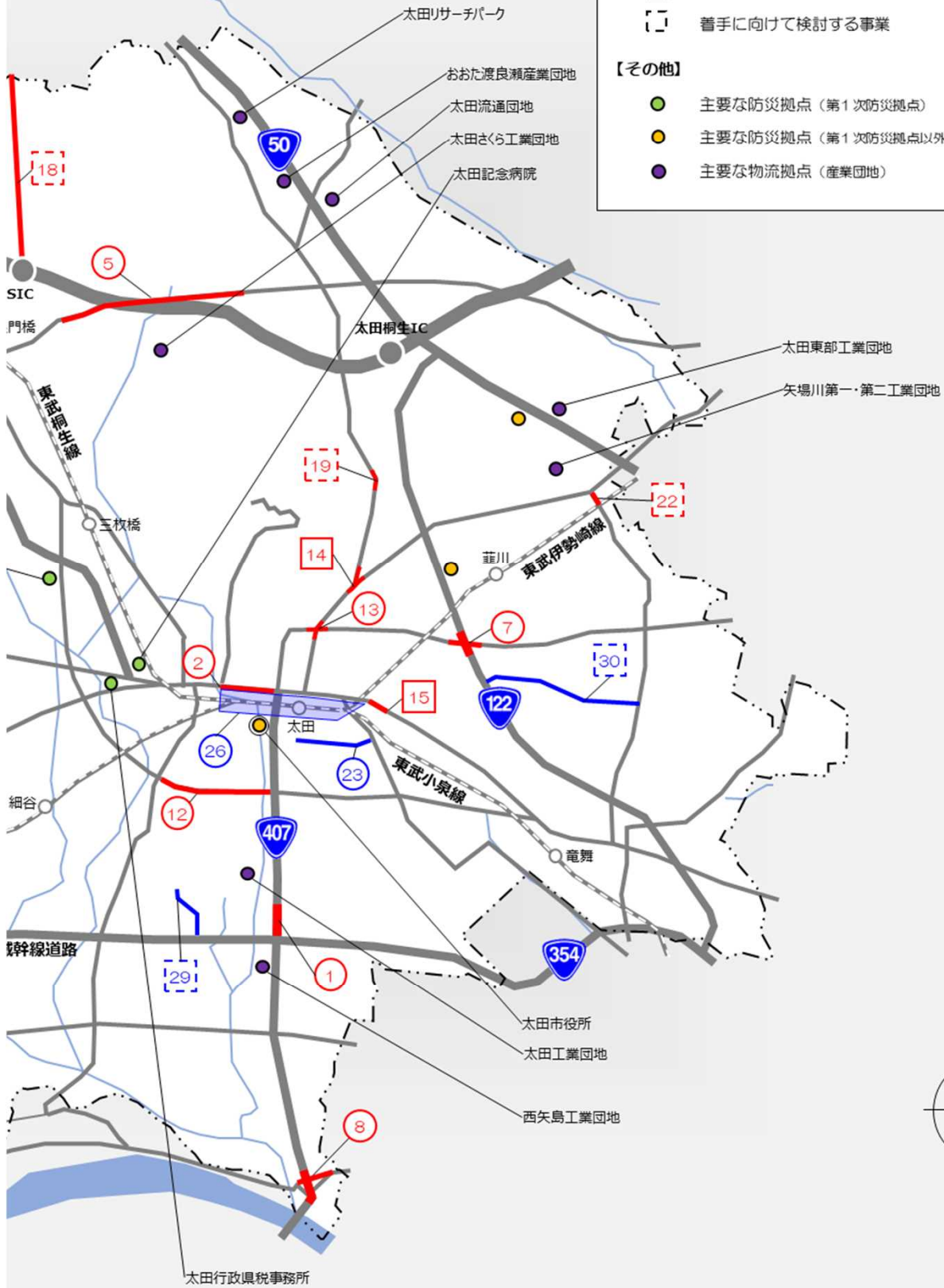
- 県事業
- 国直轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



5km

桐生・みどり地域



桐生・みどり地域は、日本を代表する織物の一大産地として長く繁栄し、県内最多の19のぐんま絹遺産※など近代化遺産の宝庫となっています。また、広い林野面積を有し、古くから農林業が盛んな地域で、鉄道4事業者が乗り入れ、3本の国道が走るなど交通の要衝であり、栃木県ともつながりが深い地域です。

地域の優れた特性

- 地域の面積の75.8%(366km²)を占める森林と、渡良瀬川、桐生川などの豊かな水辺を有しています。
- JR両毛線、東武鉄道桐生線、わたらせ渓谷鐵道、上毛電気鉄道が走り、この地域の駅数は25駅で県内最多です。
- 岩宿遺跡などの歴史遺産や、1,300年にわたる伝統を誇る絹に関わる日本遺産※・ぐんま絹遺産※などの文化財が多数あります。
- 豊かな自然に近接した良好な住環境が特徴です。

地域の現状と課題

- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 豪雨時や地震時でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 太田市、伊勢崎市などの周辺地域との連携強化を図るための取組が求められています。
- 高齢者が増加する中、地域の公共交通の担う役割がますます高くなることから、公共交通の利便性を向上させ、県民の移動手段を確保するための取組が求められています。
- 高速道路網へのアクセスが悪いことから、高速道路を活用した広域的な地域間連携を強化するための取組が求められています。
- 市街地等を中心に円滑な交通を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 桐生は山間部が多いことから、土砂災害対策の取組が必要である。
- 桐生に住んで太田で働くなど、都市間を結ぶ道路整備が必要である。
- 国道50号前橋笠懸道路、北関東自動車道ICのアクセス道路などの整備が必要である。
- 渋滞箇所の交差点改良等の対策が必要である。
- 重伝建地区等は観光の拠点であるため、魅力的なまち並みの形成が必要である。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道122号の落石対策や渡良瀬幹線道路の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 周辺地域との連携強化を図るため、県道桐生伊勢崎線の現道拡幅等を推進します。
- ② 市街地等を中心に円滑な交通を確保するため、県道前橋大間々桐生線の交差点改良等を推進します。

政策4 住み続けられるまちづくり

- ① 重伝建地区を拠点とした魅力的なまち並みの形成を図るため、県道桐生田沼線の電線共同溝の整備等を推進します。

※ 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（桐生・みどり地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道122号 落石対策	みどり市東町荻原・草木	R3	1
		2	渡良瀬幹線道路(笠懸藪塚工区)バイパス整備	みどり市笠懸町鹿	R5	85
		3	渡良瀬幹線道路(塩原工区)バイパス整備	みどり市大間々町下神梅～塩原	R7	18
		13	渡良瀬幹線道路(新里笠懸工区)バイパス整備	みどり市大間々町桐原～笠懸町鹿	R11	100
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	4	県道桐生伊勢崎線(阿左美大原工区) 現道拡幅	みどり市笠懸町阿左美～太田市大原町	R6	105
		5	県道前橋大間々桐生線(小林交差点) 交差点改良	桐生市新里町小林	R3	10
	市街地の円滑な交通を確保するため	6	県道太田大間々線(岩宿交差点) 交差点改良	みどり市笠懸町阿左美	R9	14
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備		7	(都)本町線 歩道整備	桐生市広沢町	R3	5
	8	(都)幸橋線 歩道整備	桐生市本町～東	R4	12	
	9	県道上神梅大胡線(板橋工区) 歩道整備	桐生市新里町板橋	R3	3	
	10	県道西桐生停車場線(宮前町工区) 電線共同溝	桐生市宮前町～末広町	R8	5	
	11	(都)赤岩線 歩道整備	桐生市宮前町～堤町	R11	26	
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	魅力的なまち並みの形成を図るため	12	県道桐生田沼線(本町工区) 電線共同溝	桐生市本町	R5	5

第2部
地域計画編

主要事業一覧（桐生・みどり地域）

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	市街地の円滑な交通を確保するため	14	国道122号(広沢一丁目交差点)交差点改良	桐生市広沢町一丁目	
		15	県道大間々世良田線 歩道整備	みどり市笠懸町鹿	
	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	16	県道小俣桐生線 歩道整備	桐生市菱町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	17	渡良瀬幹線道路(大間々工区)バイパス整備	みどり市大間々町桐原	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	高速道路を活用した広域的な地域間連携を強化するため	18	県道太田桐生線(太田強戸スマートICアクセス)バイパス整備	桐生市広沢町～太田市北金井町	
		19	県道太田大間々線(諸町交差点)交差点改良	みどり市大間々町	
	市街地の円滑な交通を確保するため	20	国道122号(大間々6丁目交差点)交差点改良	みどり市大間々町	
歩行者や自転車の安全な通行を確保するため		21	県道桐生岩舟線(境野町1工区)歩道整備	桐生市境野町	
	施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備				
		22	県道太田大間々線 歩道整備	みどり市笠懸町阿左美	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成 予定	全体 事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策1 公共交通網の整備・維持	公共交通の利便性を向上させ、県民の移動手段を確保するため	23	市道笠懸4396号線 阿左美駅 駅周辺整備	みどり市 笠懸町阿左美	R2	2
		24	市道錦琴平線(第2工区) バイパス整備	桐生市小梅町 ～琴平町	R9	10
32	(都)天神拾四丁線 バイパス整備					
		施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	25	市道2級8号線 歩道整備	みどり市笠懸町久宮
26	市道1-38号線 歩道整備			桐生市堤町	R11	2
27	市道2-108号線 歩道整備			桐生市新里町野 ～小林	R5	2
28	市道2-34号線ほか4路線 自転車通行環境整備			桐生市織姫町外	R6	1
33	市道2-108号線 歩道整備			桐生市新里町小林	R6	1

第2部
地域計画編

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

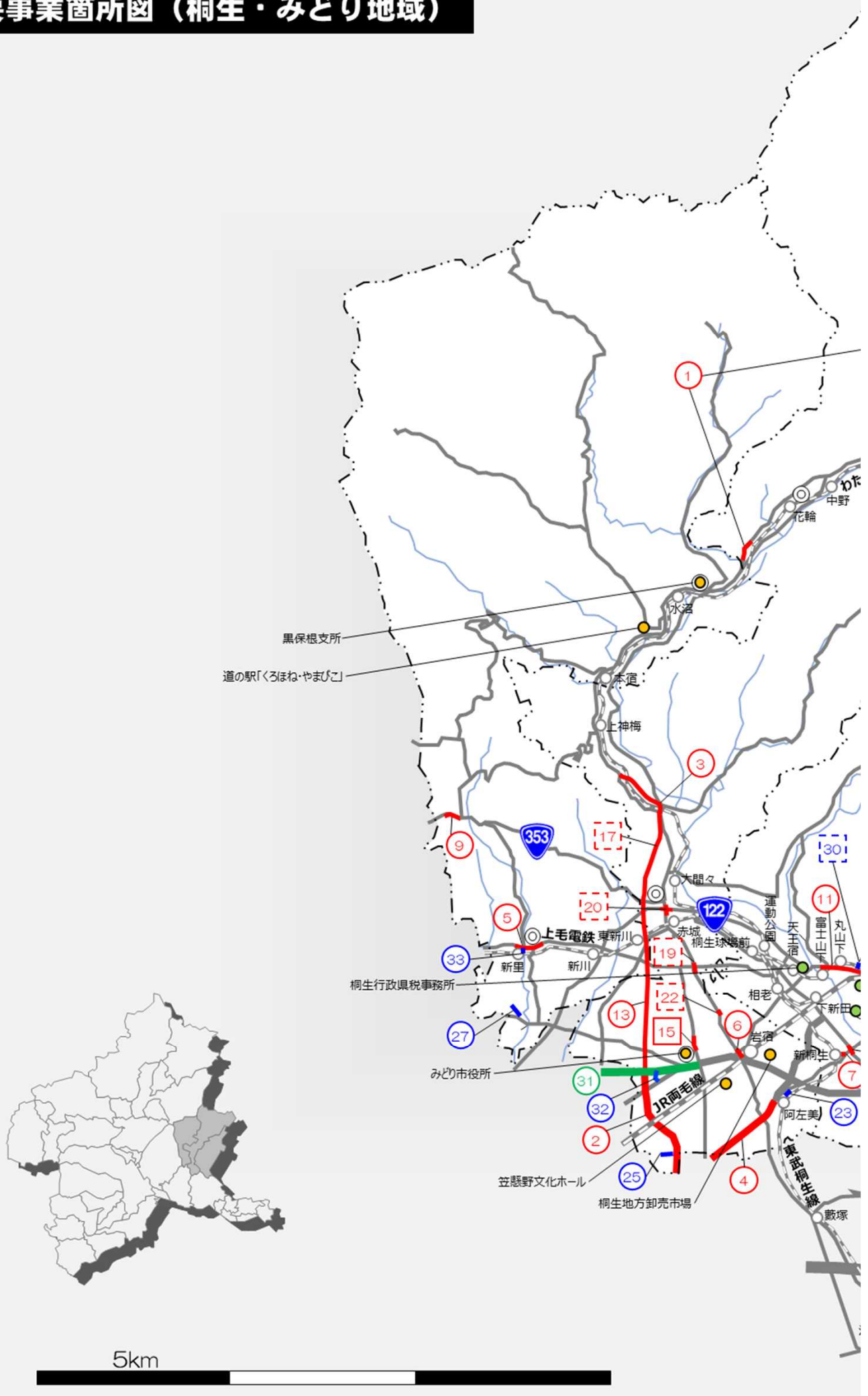
政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な 移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	30	市道2-36号線 歩道整備	桐生市宮前町	

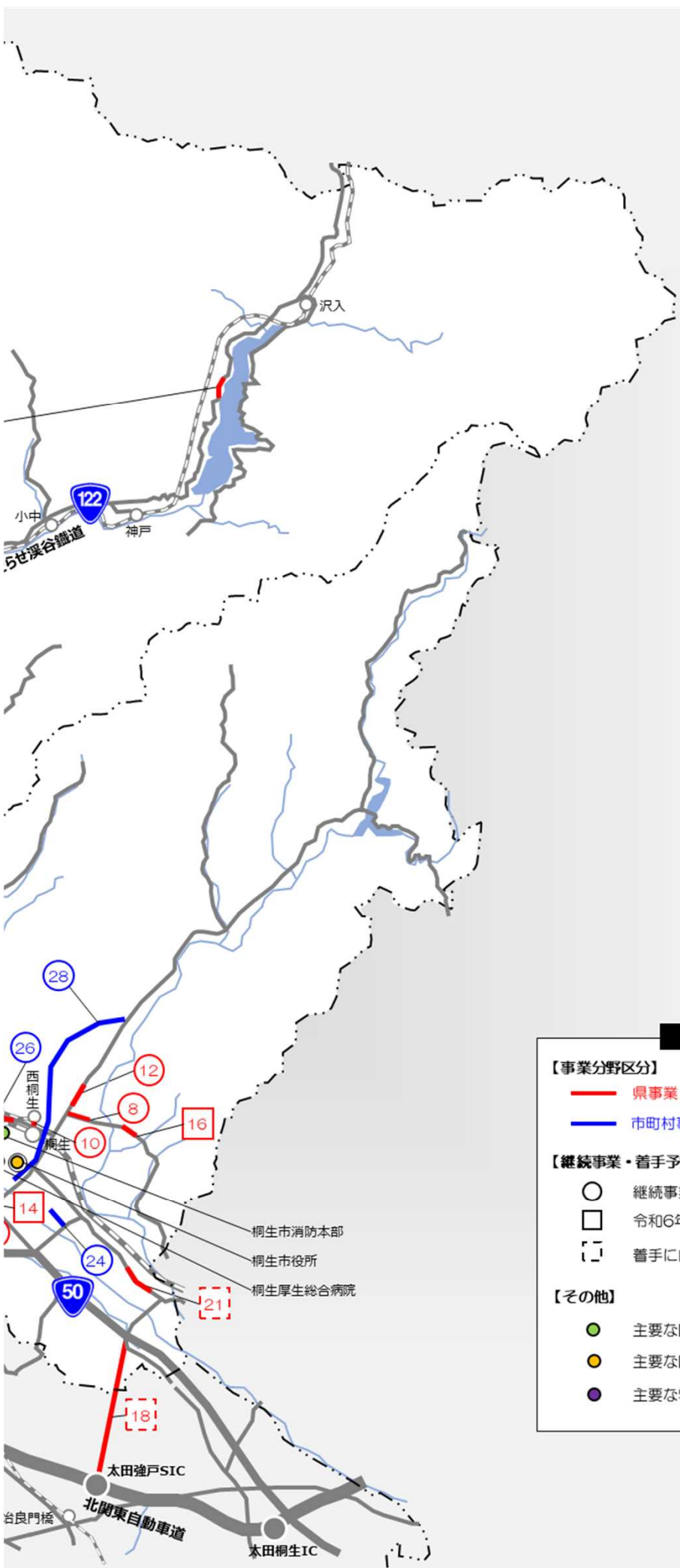
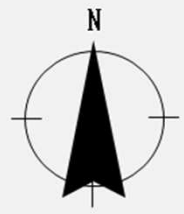
7. 継続事業（国直轄事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成 予定	全体 事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	31	国道50号 前橋笠懸道路 バイパス整備	前橋市今井町 ～みどり市笠懸町鹿		427

主要事業箇所図（桐生・みどり地域）



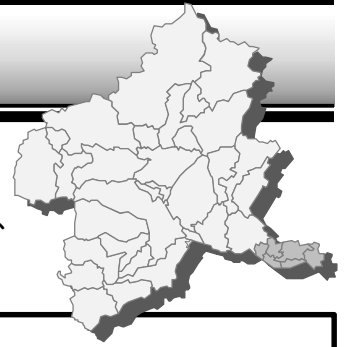


凡 例

- 【事業分野区分】
- 県事業
 - 国直轄事業
 - 市町村事業
 - 高速道路会社事業
- 【継続事業・着手予定事業の区分】
- 継続事業
 - 令和6年度までに着手予定の事業
 - 着手に向けて検討する事業
- 【その他】
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）

邑楽館林地域

邑楽館林地域は、全体がほぼ平坦地で、県内で最も東京に近い60～70km圏内に位置し、東北方面へのアクセスも良く、栃木・埼玉・茨城の各県とは、住民生活や産業面等で相互に深くつながっています。また、外国人住民の居住割合が高いことも、この地域の特徴です。



地域の優れた特性

- 栃木県南西部とは両毛地区として一体感があるほか、埼玉県や茨城県とも近く、県境を越えた交流が多くなっています。
- 東京圏からは東武鉄道や東北道・圏央道等の交通網でつながっており、製造業を中心に企業が進出しやすい立地条件にあります。
- 高速道路網が充実しており、食品企業等多くの企業が進出しています。

地域の現状と課題

- 利根川及び渡良瀬川などが氾濫した際には、地域のほぼ全域が浸水するとの想定がされており、市町村や県を越えた広域避難体制の構築が求められています。
- 豪雨時や地震時においても、円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生しており、市街地等の円滑な交通を確保し、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化や地域経済の活性化等の促進と大規模洪水時の広域避難に活用するための取組が求められています。
- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べて低く、交通人身事故発生件数も多いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 大雨時の道路冠水の対策や、避難経路となる道路の整備を進めてほしい。
- 歩道が整備されていない通学路の歩道整備をしてほしい。
- 交通量が多く、渋滞している箇所の対策をしてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道354号の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 市街地内の渋滞を解消するとともに、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るため、地域の南北軸となる国道122号館林バイパスの整備等を推進します。
- ② 物流の効率化や地域経済の活性化、さらには利根川や渡良瀬川等における洪水時の広域避難体制構築に向け、東北自動車道の新たなスマートIC整備に向けた技術的な支援を行います。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道今泉館林線の歩道整備や県道綿貫篠塚線の電線共同溝の整備等を推進します。

主要事業一覧（邑楽館林地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道354号(小桑原町工区) 電線共同溝	館林市小桑原町	R6	5
		2	国道354号(緑・美園町工区) 電線共同溝	館林市緑町	R7	4
政策2. 持続的で効率的なメンテナンス						
施策1 予防保全に基づく長寿命化	既存の社会資本の機能を維持させるため	3	県道矢島大泉線(谷田川橋) 老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町 ～明和町入ヶ谷	R7	7
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	4	県道山王赤生田線(楠工区) バイパス整備	館林市楠町	R9	8
		5	国道122号(館林バイパス) バイパス整備	館林市北成島町 ～苗木町	R12以降	90
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	6	県道館林藤岡線(除川工区) 歩道整備	板倉町除川	R2	2
		7	県道足利館林線(高根工区) 歩道整備	館林市高根	R2	1
		8	県道麦倉川俣停車場線(中谷工区) 歩道整備	明和町中谷	R5	2
		9	県道今泉館林線(上江黒工区) 歩道整備	明和町上江黒	R5	3
		10	県道足利邑楽行田線(光善寺工区) 歩道整備	邑楽町光善寺	R5	4
		11	(都)中央通り線 歩道整備	館林市本町一丁目 ～本町二丁目	R11	45
		12	県道綿貫篠塚線(東小泉工区) 電線共同溝	大泉町東小泉	R7	7

第2部
地域計画編

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	13	県道佐野行田線(大手町工区) 電線共同溝	館林市大手町	

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	14	県道熊谷館林線 (利根新橋・赤岩渡船) バイパス整備	千代田町赤岩	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	15	県道足利邑楽行田線 (中野上宿交差点) 交差点改良	邑楽町中野	
		16	県道山王赤生田線(楠2期工区) バイパス整備	館林市楠町	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	17	県道足利邑楽行田線(中野工区) 歩道整備	邑楽町中野	
		18	県道古戸館林線(赤土工区) 歩道整備	館林市赤土	
		19	県道海老瀬下五箇線(海老瀬工区) 歩道整備	板倉町海老瀬	
		20	県道除川板倉線(細谷工区) 歩道整備	板倉町細谷	
		21	県道赤岩足利線(蛭沼工区) 歩道整備	邑楽町中野	

主要事業一覧（邑楽館林地域）

4. 継続事業（市町村事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	22	市道2級6号線(仮称)(江川橋工区)バイパス整備	館林市木戸町ほか	R10	10
		23	小舞木寄木戸線 バイパス整備	大泉町寄木戸	R12以降	5
		24	赤岩新福寺線 バイパス整備	千代田町赤岩	R5	6
		25	町道12-39号線ほか1路線(狸塚工区)現道拡幅	邑楽町狸塚	R4	4
		26	(町)矢島・大輪線(入ヶ谷工区)バイパス整備	明和町大輪～入ヶ谷	R5	11
		27	町道63号線(大輪工区)現道拡幅	明和町大輪～矢島	R7	6
		28	東部工業団地線(斗合田工区)バイパス整備	明和町斗合田	R6	1
		29	町道2-267号外3線 現道拡幅	明和町南大島～中谷	R9	3
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	30	町道3-70号線ほか2路線 冠水対策	大泉町古氷	R6	1
		31	市道4103号線 歩道整備	館林市松原二丁目～羽附町	R6	3
政策4. 住み続けられるまちづくり						
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり	市街地の良好な都市景観や居住環境を確保するため	32	西部第一中土地区画整理	館林市栄町外	R9	90
		33	西部第二土地区画整理	館林市富士原町外	R12以降	106
		34	西部第一南土地区画整理	館林市富士見町外	R12以降	120
		35	鶯土地区画整理	邑楽町鶯	R12以降	69

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

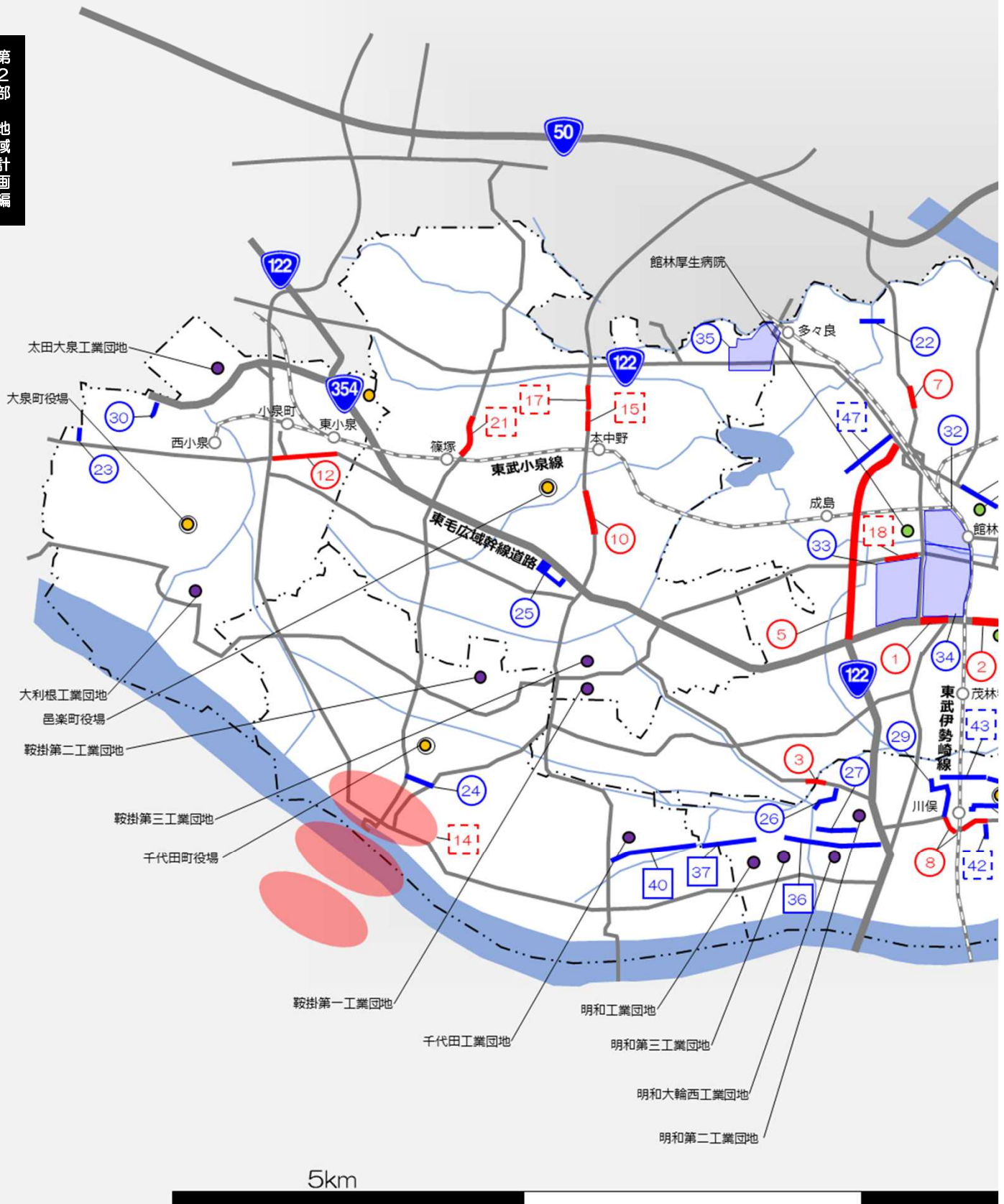
5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	36	(町)大佐貫・大輪線(大佐貫工区) バイパス整備	明和町大佐貫～大輪	
		37	(町)大佐貫・大輪線(大輪工区) バイパス整備	明和町大輪	
		38	町道2-279号外3線 現道拡幅	明和町新里	
		39	(仮称)南大島・上江黒線 バイパス整備	明和町南大島	
		40	(仮称)千代田工業団地 アクセス道路 バイパス整備	千代田町中森	
		41	町道1-12号線 道路新設	板倉町板倉	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	48	市道4265号線他 歩道整備	館林市羽附町	

6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	周辺地域との連携強化を図るため	42	町道2-292号線(新里工区) 現道拡幅	明和町新里	
		43	町道60号線 現道拡幅	明和町南大島	
		44	町道2級41号線 現道拡幅	板倉町海老瀬	
		45	(都)雷電通り線 道路新設	板倉町板倉	
		46	(都)大手町大街道線 現道拡幅	館林市本町一丁目～大街道一丁目	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	47	市道2級16号線 歩道整備	館林市西高根町	

主要事業箇所図 (邑楽館林地域)



凡例

【事業分野区分】

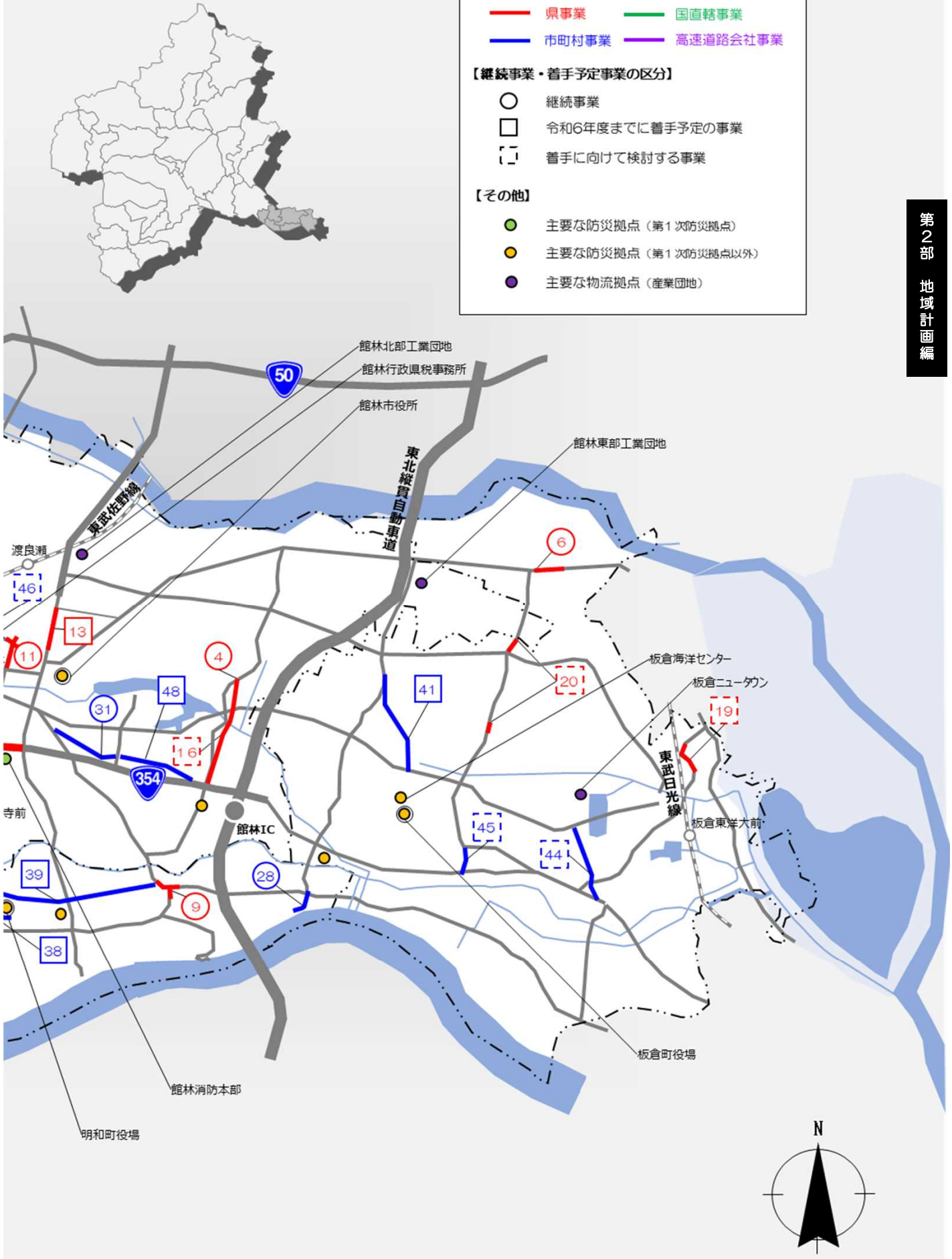
- 県事業
- 国道轄事業
- 市町村事業
- 高速道路会社事業

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和6年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



◆ 第1次防災拠点

防災拠点とは、災害時における医療活動、支援活動などの拠点となる施設や場所のことをいい、第1次防災拠点とは、応急対策の活動体制の確立、救助・救急医療及び消火活動のための拠点となる施設や箇所のこと。

◆ 緊急輸送道路

地震などの災害直後から、避難・救助や物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保する道路のこと。

◆ ぐんま絹遺産

県内に残る養蚕、製糸、織物、流通に関わる建造物や施設、民族芸能等を対象に、群馬県が登録した文化財等のこと。

◆ ジオパーク

「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」を組み合わせた言葉で「大地の公園」を意味する。地球活動の遺産(地層・岩石・地形・火山・断層等)の保護や、教育、観光に活かした活動を行うことを目的とし、日本ジオパーク委員会により認定される「日本ジオパーク」と、ユネスコが定める基準に基づいて認定される「ユネスコ世界ジオパーク」がある。本県においては以下の地域が日本ジオパークに登録されている。

- ・下仁田ジオパーク(下仁田町)
- ・浅間山北麓ジオパーク(嬭恋村・長野原町)

◆ スマートIC(スマートインターチェンジ)

高速道路本線やサービスエリア等から乗り降りができるようにETC搭載車の利用に限定したインターチェンジのこと。

◆ 世界の記憶

手書き原稿、書籍、地図、音楽、写真、映画等の記録遺産を対象として、世界的重要性を有する物件をユネスコが認定・登録する事業のこと。本県においては「上野三碑(高崎市)」が登録されている。

◆ 日本遺産

文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るため、歴史的経緯や地域風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承や風習などを踏まえ、地域に点在する、建造物や遺跡、祭りなど有形・無形のさまざまな遺産(文化財・伝統文化等)を面的に活用・発信する取組で、文化庁により認定される。なお、本県においては、絹産業における女性の活躍に焦点を当てた「かかあ天下ぐんまの絹遺産」などが認定されている。

◆ ユネスコエコパーク

正式名を生物圏保存地域といい、自然の恵みを守り、かつ合理的かつ持続可能に利用するなど、自然と人間社会の共生を図ることを目的に、ユネスコが認定・登録する地域のこと。本県においては、以下の地域が登録されている。

- ・みなかみユネスコエコパーク(みなかみ町)
- ・志賀高原ユネスコエコパーク(中之条町、草津町、嬭恋村)

◆ ラムサール条約

国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物を保全することを目的とした国際条約のこと。本条約に基づき、本県では以下の湿地が国際的に重要な湿地として登録されている。

- ・尾瀬(片品村)
- ・渡良瀬遊水地(板倉町)
- ・芳ヶ平湿地群(中之条町、草津町)

群馬県道路整備アクションプログラム 2020-2029

群馬県 県土整備部 道路管理課 道路整備課 都市計画課 都市整備課

【所在】 〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

【電話】 027-226-3576 （道路整備課）

【県ホームページ】 <https://www.pref.gunma.jp/page/11116.html>

